

平成31年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査結果

川西市教育委員会

目次

1 調査の概要	
(1) 目的	P2
(2) 実施日	
(3) 対象	
(4) 内容	
(5) 昨年度からの変更点	
(6) 市内の参加状況	
(7) 結果の取扱いについて	P3
2 平成 31 年度川西市の調査状況	
(1) 教科に関する調査結果の概要	P3
(2) 教科に関する状況	
・ 小学校 国語	P4 ~ P9
・ 小学校 算数	P10 ~ P12
・ 中学校 国語	P13 ~ P15
・ 中学校 数学	P16 ~ P19
・ 中学校 英語	P20 ~ P24
3 平成 31 年度生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果要	
(1) 項目別結果	
・ 学習意欲	P25 ~ P27
・ 規範意識	P28
・ 自己有用感 (自尊感情)	P29
・ 生活習慣 (基本的生活習慣)・ 学習習慣	P30
・ 言語活動の充実と言語環境	P31
(2) 平成 31 年度質問紙調査結果と学力のクロス分析	P32 ~ P34
(3) 質問紙から見える授業改善のポイント	P35 ~ P36
4 子ども達の学びを支える「学校、家庭・地域・PTA、教育委員会」の取り組み	P37 ~ P38
(参考)	
平成 28 年度と平成 31 年度 (同一児童生徒) 調査結果の追跡	P39

1 調査の概要

(1) 目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面である。
(平成31年度実施要項より)

(2) 実施日 平成31年4月18日(木)

(3) 対象 小学校調査 小学校第6学年 中学校調査 中学校第3学年

(4) 内容

- ・教科に関する調査(小学校は、国語及び算数。中学校は、国語、数学及び英語。)
出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項。出題内容は、以下のとおり。
身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- ・調査する学年の児童生徒を対象に学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査、学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査。

(5) 昨年度からの変更点

- ・教科に関する調査において、上記 を一体的に問うことになった。
(昨年度は、国語A・国語Bのように と を分けての調査問題)
- ・中学校に英語の調査が追加。「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」に関する問題は記述式、「話すこと」に関する問題の解答は、口述式による。

(6) 市内の参加状況

■ 小学校実施人数(16校)			
国語	1,313名	算数	1,314名
児童質問紙	1,317名		
■ 中学校実施人数(7校)			
国語	1,252名	数学	1,256名
英語	1,258名	生徒質問紙	1,257名

(7) 結果の取扱いについて

本調査の結果を教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であり、序列化や過度な競争が生じないように留意する。また、調査結果の状況については、ほとんどの都道府県が「平均正答率の±5%の範囲内にあり、大きな差は見られない」と表現している。そのため、本市においても、文部科学省の趣旨をふまえ、公表資料を作成することとする。

2 平成31年度川西市の調査状況

(1) 教科に関する調査結果の概要

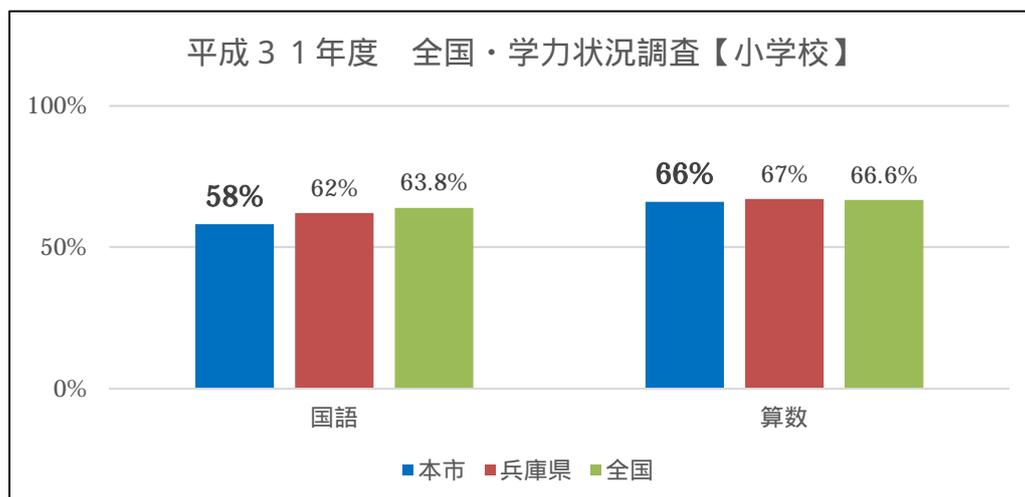
平成31年度全国学力・学習状況調査における川西市の平均正答率と全国（公立）の平均正答率の状況については、以下のとおりである。（国は小数第1位まで、県・市は整数値での公表）

【小学校】

- ・国語 は58%（兵庫県比-4、全国比-5.8）
- ・算数 は66%（兵庫県比-1、全国比-0.6）

国語は全国と比較して、±5%の範囲を下回っている。

算数は全国と比較して、±5%の範囲内である。

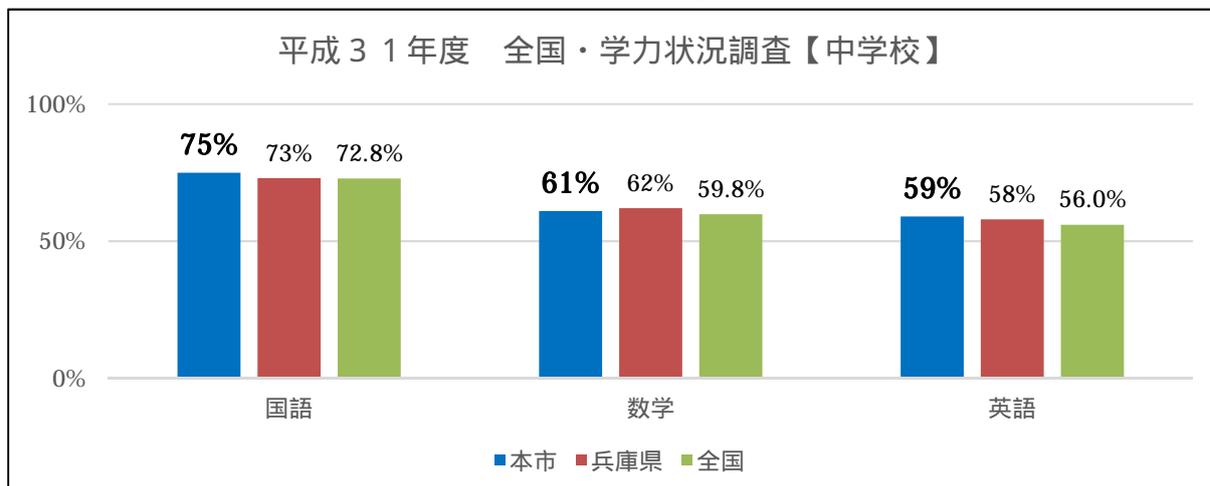


【中学校】

- ・国語 は75%（兵庫県比+2、全国比+2.2）
- ・数学 は61%（兵庫県比-1、全国比+1.2）
- ・英語 は59%（兵庫県比+1、全国比+3.0）

注：英語については、記述式問題のみの平均正答率

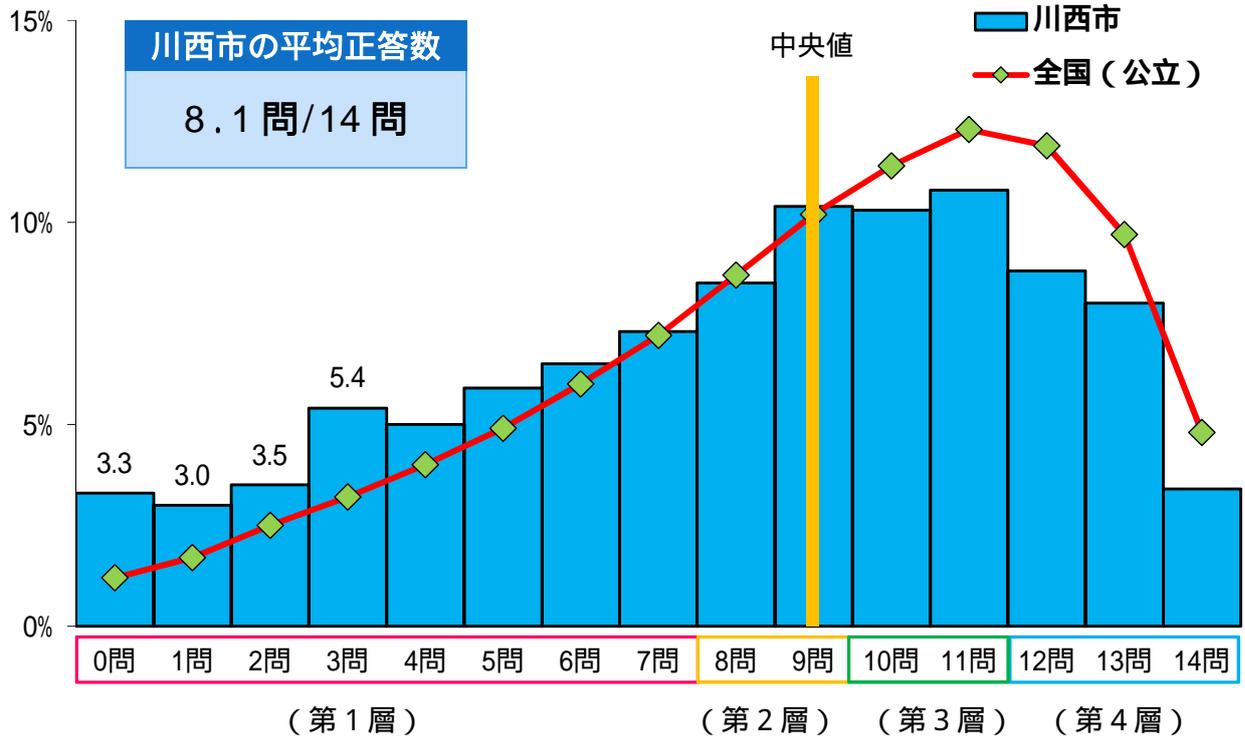
全国と比較して、±5%の範囲内である。



(2) 教科に関する状況

【小学校 国語】

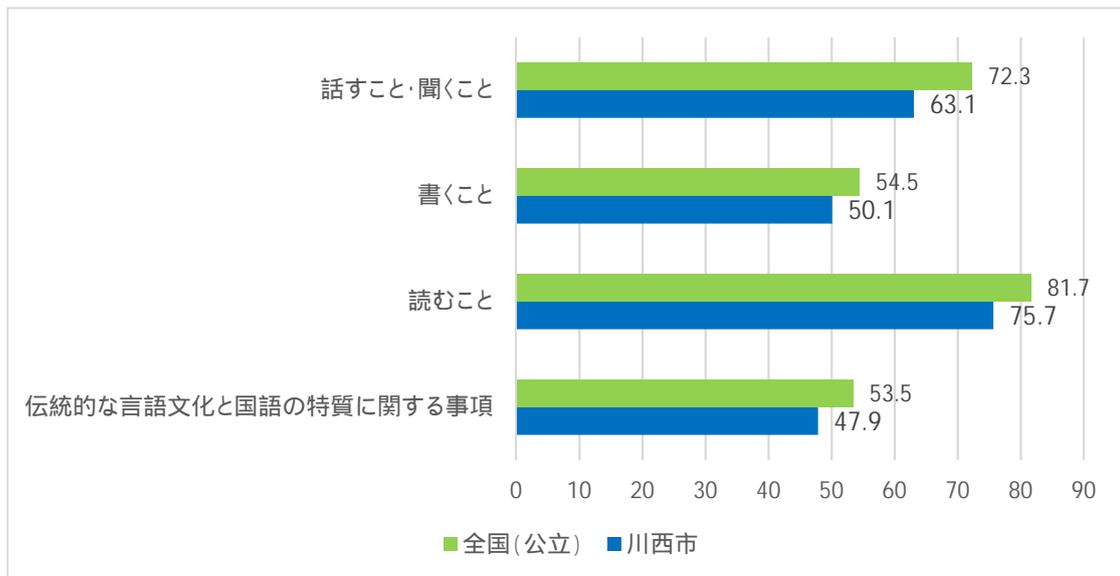
ア 正答数の分布状況



*「層」は全国のデータを大きさの順に並べた時に、4等分したものであり、小さい方から第1層、第2層、第3層、第4層とする。

- ・全国と比較し、第1層の分布が多く、第3層・第4層の分布が少ない。
- ・正答数0～3問が約15%。児童数にすると約200名が分布している。

イ 学習指導要領の領域別平均正答率



- ・全国と比較し、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が-5ポイントを下回っている。
- ・特に、「話すこと・聞くこと」が大きく下回っている(-9.2ポイント)。

ウ 問題別解答状況

問題 番号	問題の概要	領域	正答率		無解答率	
			川西市	全国	川西市	全国
1一	公衆電話について調べたことを【報告する文章】で 資料2 と 資料3 をそれぞれどのような目的で用いているか、適切なものを選択する	書くこと	69.5	71.2	1.2	0.5
1二	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(2)公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」における書き方の工夫として適切なものを選択する		56.7	63.4	13.5	5.9
1三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□に、「2調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く		24.1	28.8	4.1	3.8
1四 (1) ア	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の□部アを、漢字を使って書き直す(調査のたいしょう)	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	34.5	41.9	8.1	8.2
1四 (1) イ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の□部イを、漢字を使って書き直す(友達にかぎらず)		63.5	69.4	14.6	12.1
1四 (1) ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の□部ウを、漢字を使って書き直す(かんしんをもってもらいたい)		39.2	35.6	3.8	4.9
1四 (2)	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す		40.5	47.8	17.4	11.3
2一 (1)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の□アに入る、 <u>疑問に思ったこと</u> の に対する答えとして適切なものを選択する		77.8	80.7	5.2	1.4
2一 (2)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の□イに、 <u>疑問に思ったこと</u> の に対する答えになるように考えて書く	70.7	75.9	8.4	5.0	

ピックアップ

2二	梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する	読むこと	78.5	88.5	12.6	4.2
3一	畳職人への【インタビューの様子】の「ア」に入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する	話すこと・聞くこと	75.6	81.3	12.3	3.4
3二	畳職人への【インタビューの様子】の「イ」の場面における、質問の工夫として適切なものを選択する		60.8	67.4	14.3	4.2
3三	【インタビューの様子】の「イ」に、畳職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く		53.0	68.2	25.6	14.2
3四	ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】の「ウ」に入る適切なものを選択する（習うより慣れよ）	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	61.5	73.0	21.9	7.9

ピックアップ

ピックアップ

ピックアップ問題

岸さん お話を聞いて、大谷さんの仕事への思いや考えが分かりました。特に、

イ

またぜひお話を聞かせてください。今日は本当にありがとうございました。

「インタビューの様子」

- △条件▽
- ① (インタビューの様子)の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。
 - ② インタビューとしてふさわしい言葉づかいにすること。
 - ③ 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

3三
岸さんは、インタビューの最後に、大谷さんの仕事への思いや考えに着目して、特に心に残ったことを伝えようとしています。(インタビューの様子)の「イ」に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
(話すこと・聞くこと)

< 解答状況 >

	解答類型	反応率
(正答)	1 条件①, ②, ③を満たしているもの	53.0 (-15.2)
	2 条件①, ②は満たしているが, 条件③は満たしていないもの	0.2
	3 条件①は満たしているが, 条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	9.7
	4 条件②は満たしているが, 条件①は満たしていないもの	4.6
	99 上記以外の解答	6.9
	0 無解答	25.6%

< 条件 >

- ① 【インタビューの様子】の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。
- ② インタビューとしてふさわしい言葉づかいにすること。
- ③ 書き出しの言葉に続けて、30字以上、60字以内にまとめて書くこと。
なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

3

- ・ 正答率は53.0%で、全国比 - 15.2ポイント。
- ・ 誤答としては、文章全体として文脈に合っていない、次の文につながらない、丁寧語をつかっていないなど、インタビューとしてふさわしい言葉づかいで書くことができていない子どもが、9.7%で一番多い。
- ・ 無解答率は25.6%で、4人に1人は解答していない状況である。

課題解決に向けた学習のポイント

- ・ 自分が必要な情報は何か、誰にどのようなことを聞くのかを明確にする。
- ・ インタビュー前に、自分の考えをもったり、自分のもっている情報と知りたい情報とを整理したりできるようにする。
- ・ 分からないことは問い返したり、相手の話につなげてさらに詳しく聞いたりする。
- ・ 総合的な学習の時間にインタビューに必然性を感じる話題や、インタビューの成果を生かす場の設定をする。
- ・ 文字制限を設けたうえで、意見を書いたり、要約をしたりする学習を継続的に取り入れる。
- ・ 無解答が多く、粘り強く問題に取り組む姿勢を育てることも求められる。

ピックアップ問題

1 何度も乗って練習すれば、自転車にうまく乗れるようになるよ。習うより慣れよだよ。

2 どんな所でも、住み慣れればよい所だと思えるようになるよ。習うより慣れよだよ。

3 新しいことは最初はさこちが悪いけれど、数日はくと足になじむよ。習うより慣れよだよ。

4 一生けん命がんばったから、あれこれ考えず気長に結果を待とうよ。習うより慣れよだよ。

（ノートの一部）

習うより慣れよ

（意味） ものことは、人に教わるよりも、自分で実際にやってみるほうがよく身につくということ。

（使い方の例）

ウ

3 四 岸さんは、(インタビュウの様子)の中の「習うより慣れよ」ということわざの意味を調べて、ノートにまとめています。次の(ノートの一部)の「ウ」に入る例として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

< 解答状況 >

	解答類型	反応率
(正答)	1 と解答しているもの	61.5 (-11.5)
	2 と解答しているもの	3.4
	3 と解答しているもの	5.0
	4 と解答しているもの	8.1
	99 上記以外の解答	0.1
	0 無解答	21.9%

- ・ 正答率は61.5%で、全国比-11.5ポイント。
- ・ 誤答としては、「4」を選んだ子どもが、8.1%で一番多い。
- ・ ことわざ自体を知っていない、大谷さんの発言と、ノートに書いてある意味を関連付けて考えられていないなどが誤答の要因と考えられる。
- ・ 無解答率は21.9%と高い割合であると考ええる。

課題解決に向けた学習のポイント

- ・ 授業の中で、ことわざの意味を辞書で調べるとともに、使い方の例を考える。
- ・ 自分の体験談をスピーチする際に、ことわざを用いるよう工夫する。
- ・ 学校生活の中で起こったことを、ことわざに言い換えて伝えるなど普段からことわざに触れるようにする。
- ・ 選択式の問題であっても無解答が多いことから、わからないから答えないのでなく、最後まで考えて問題に挑戦する姿勢を育てていく。

そこで、地いきの人三十人を調査の「ア」たいしようとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。

ア

1四
高橋さんは、習っている漢字がひらがなになっているところがあることに気がつき、書き直すことにしました。(報告する文章)の 部アからウのひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

< 解答状況 >

	解答類型	反応率
(正答)	1 「対象」と解答しているもの	34.5 (-7.4)
	2 「対照」と解答しているもの	3.9
	3 「対」と解答しているが、「象」「照」と解答していないもの	36.0
	対称など	
	4 「対」と解答していないが、「象」と解答しているもの	1.0
	99 上記以外の解答	16.5
大正、大賞など		
0 無解答	8.1	

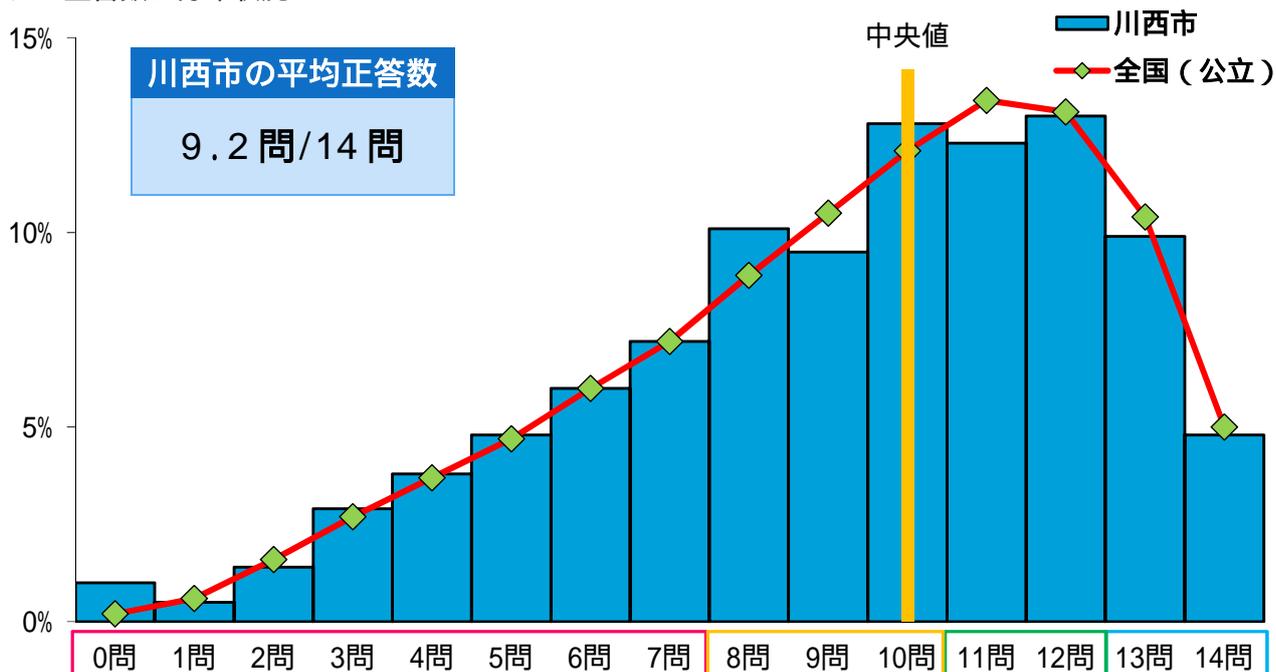
- ・ 正答率は34.5%で、全国比-7.4ポイント。
- ・ 誤答としては、「対」は書けているが、「象」と答えていない子どもが、36.0%で一番多い。
- ・ 漢字の意味を正確に捉えられていない、音だけで漢字を書いている、同音異義語を混同して覚えていることが要因として考えられる。

課題解決に向けた学習のポイント

- ・ 授業の中で、同音異義語の意味を辞書で調べる活動を取り入れる。
- ・ 書く活動の中で、意味を考えながら漢字を使うよう意識させる。
- ・ 作文など作品を仕上げる際に、漢字の使い方に誤りがないか確認したり、子ども達同士で教え合う機会を設ける。
- ・ 単語で覚えることに加え、文章の中で使い方を考える。

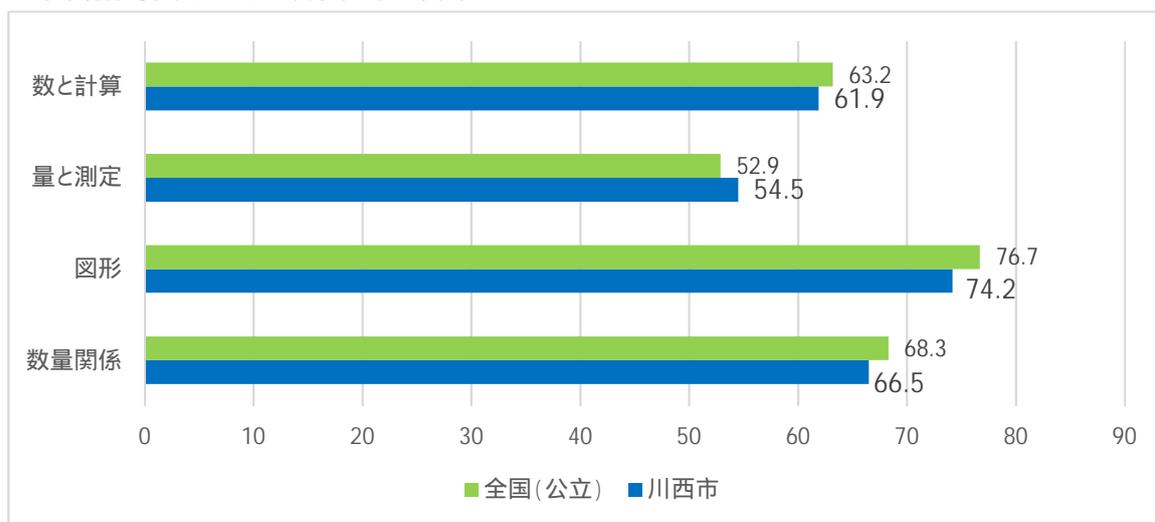
【小学校 算数】

ア 正答数の分布状況



全国と比較し、0問の分布がやや多く、第3層の分布がやや少ない。

イ 学習指導要領の領域別平均正答率



全国と比較し、- 5 ポイントを下回る領域はないが、図形で - 2.5 ポイント低くなっている。

ウ 問題別解答状況

問題番号	問題の趣旨	領域	正答率		無解答率	
			川西市	全国	川西市	全国
1(1)	長方形を直線で切ってできた図形の中から、台形を選ぶ	図形	92.5	93.1	0.4	0.1
1(2)	二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくることのできる形を選ぶ		55.8	60.3	1.7	0.6

1(3)	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く	量と測定	47.7	43.9	6.8	6.7
2(1)	1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ	数量関係	93.2	95.2	1.0	0.2
2(2)	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く	数と計算 数量関係	76.6	78.6	1.3	1.0
2(3)	二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く	量と測定 数量関係	53.6	52.1	2.1	2.0
2(4)	洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6 + 0.5 \times 2$ を計算する	数と計算 数量関係	52.8	60.1	1.2	1.0
3(1)	350 - 97について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く	数と計算	81.2	81.8	1.4	0.9
3(2)	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのかを書く		33.7	31.1	11.2	10.8
3(3)	被除数と除数にかける数や割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する		74.9	74.9	2.4	2.1
3(4)	$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ	数と計算 数量関係	45.8	47.0	3.9	2.2
4(1)	だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ	数量関係	81.1	82.7	3.0	1.7
4(2)	何秒後にゴンドラに乗ることができているのかを求める式を書く	数と計算	68.1	68.6	4.9	4.4
4(3)	残り7ポール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを判断する	量と測定 数と計算	62.2	62.6	4.9	3.5

ピックアップ!

加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
(数と計算・数量関係)

2 (4)

かいとさんが考えた式の、㊦に入る数を書きましょう。

(4) さらに、かいとさんは、自分が家で水をどのくらい使っているのが気になり、洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、下の式を考えました。

【かいとさんが考えた式】

$$6 + 0.5 \times 2 = \text{㊦}$$

かいと

< 解答状況 >

	解答類型	反応率
(正答)	7 と解答しているもの	52.8 (-7.3)
	13 と解答しているもの	27.8
	16 と解答しているもの	1.1
	2.2 と解答しているもの	9.2
	6 または60 と解答しているもの	2.8
	130 と解答しているもの	0.3
	1.3 と解答しているもの	0.3
	1.6 と解答しているもの	0.2
	上記以外の解答	4.2
	無解答	1.2

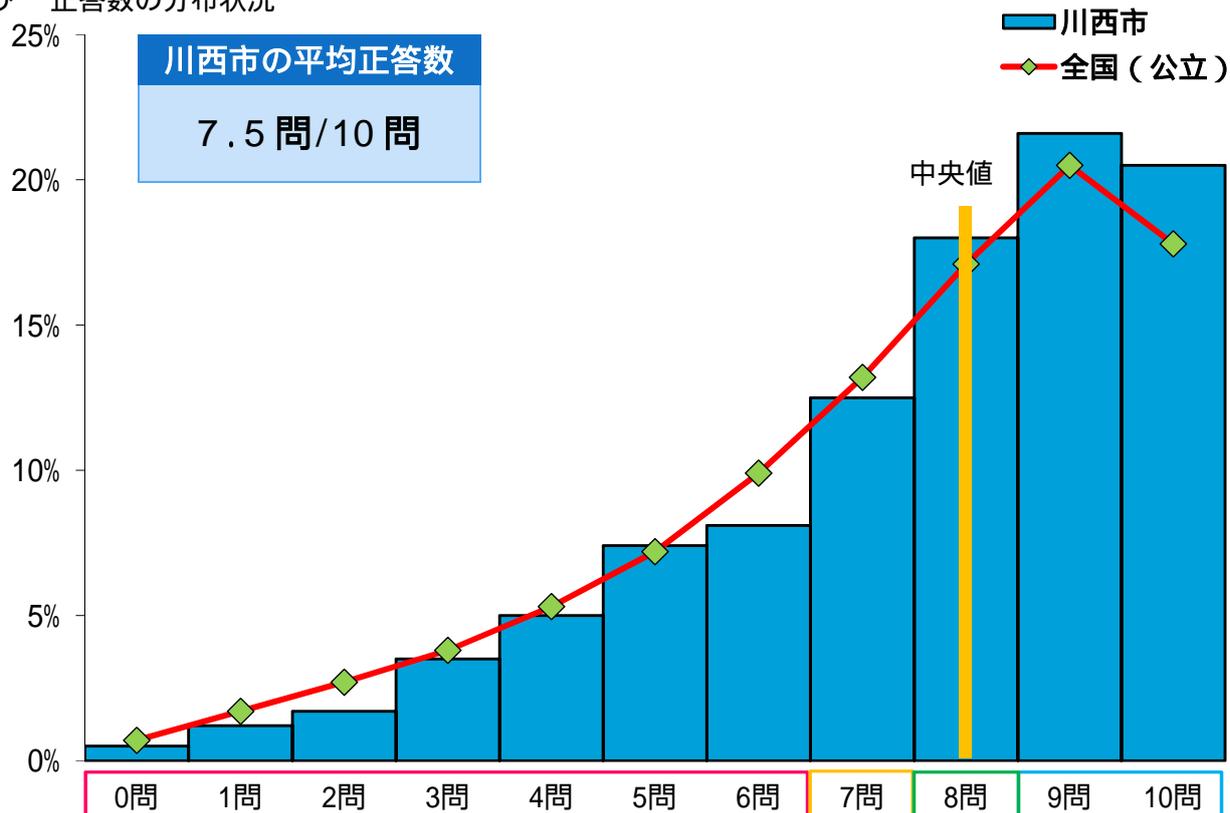
- ・ 正答率は52.8%で、全国比 - 7.3ポイント。
- ・ 誤答は「13」とした子どもが、27.8%で一番多い。
- ・ 四則計算の順序のきまりを理解せず、左から順に計算している、図と計算式がつながっていないなどの要因が考えられる。

課題解決に向けた学習のポイント

- ・ 四則計算の定期的な練習を行う。
- ・ 式から具体的な場面（生活の場面）と関連付けながら理解できるようにする。
- ・ 式と答えを導き出した過程を、文字に表出して説明する機会を設ける。

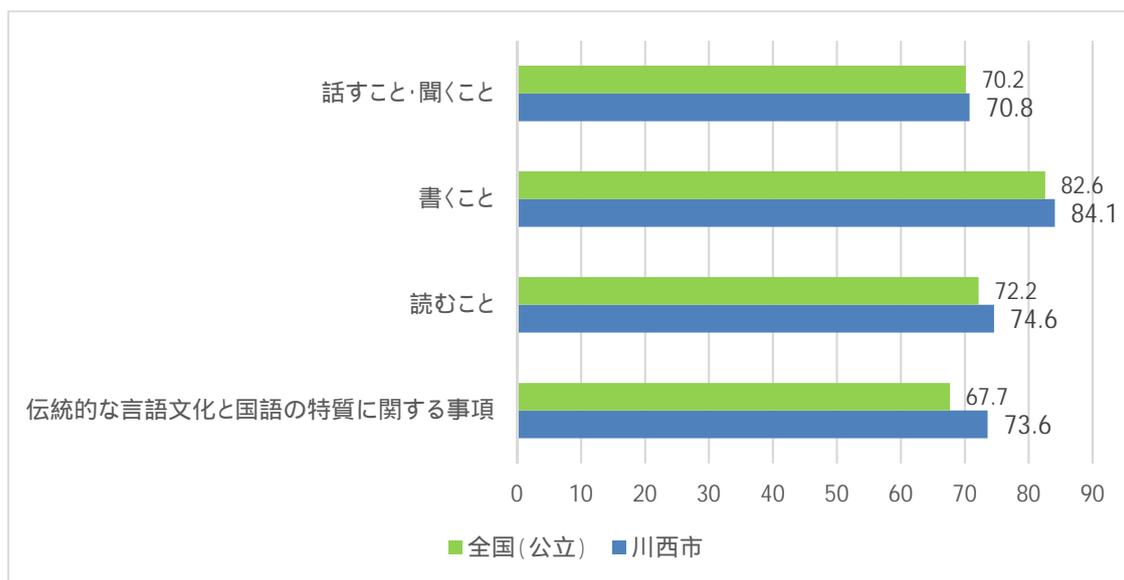
【中学校 国語】

ア 正答数の分布状況



全国と比較し、第1層が少なく、第4層が多い。

イ 学習指導要領の領域別平均正答率



- ・全領域において全国を上回っており、特に「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、全国比+5.9ポイントとなっている。
- ・該当問題（1四、4）の正答率が全国と比較し高く、無解答率は全国の約半数以下である。（下記、解答別状況を参照）

ウ 解答別状況

問題 番号	問題の趣旨	領域	正答率		無解答率	
			川西市	全国	川西市	全国
1一	「日本の文化の中には、海外でも 広く知られているものがありま す。……第一回は、弁当です。」 について説明したものとして適切 なものを選択する	読むこと	65.7	63.9	0.0	0.1
1二	「海外に広がる弁当の魅力」で述 べられている、弁当の魅力として 適切なものを選択する		64.9	61.5	0.0	0.1
1三	「みんなの短歌」に掲載されてい る短歌の中から一首を選び、感じ たことや考えたことを書く		93.4	91.2	1.4	1.7
1四	「声の広場」への投稿を封筒で郵 送するために、投稿先の名前と住 所を書く	伝統的な言 語文化と国 語の特質に 関する事項	66.4	56.8	2.6	5.6
2一	話合いでの発言の役割について説 明したものとして適切なものを選 択する	話すこと・ 聞くこと	80.9	80.4	0.0	0.2
2二	話合いでの発言について説明した ものとして適切なものを選択する		69.6	69.7	0.0	0.3
2三	話合いの流れを踏まえ、「どうする か決まっていないこと」について 自分の考えを書く		62.0	60.4	6.3	8.9
3一	意見文の下書きに書き加える言葉 として適切なものを選択する	書くこと	89.0	87.4	0.0	0.4
3二	広報誌の一部にある情報を用い て、意見文の下書きに「魅力」の 具体例を書き加える		79.3	77.8	5.4	7.9
4	語の一部を省いた表現についての 説明として適切なものを選択する	伝統的な言 語文化と国 語の特質に 関する事項	80.9	78.7	0.5	1.2

ピック
アップ!

ピックアップ問題

山下さんも気になっていたんですね。それに、例年、展示や発表の場所が校内に点在しているので、見て回る経路の例を示した紙を配るとよいと思います。

倉田さん 西野さん

賛成です。展示や発表の場所は美術室や体育館など校内のあちこちにあるので、長い距離を移動することに負担を感じる方がいると思います。具体的な経路の例は、展示や発表の場所が決まってから検討しましょう。それでは、今日の話合いはここまでですね。

山下さん

ちょっと待ってください。具体的な経路のことについては倉田さんの言うとおりでと思いますが、今回出されたことの中で、まだ、どうするか決まっていないことがあります。

A

条件 1
話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」とは何かを明確にして書くこと。

条件 2
条件 1 で示した「どうするか決まっていないこと」を解決する具体的な案を考えて書くこと。

2
3
場面 3 の A で山下さんは、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを述べようとしています。あなたなら、どのような考えを述べますか。次の条件 1 と条件 2 にしたがって、実際に話すように書きなさい。

話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ(話すこと・聞くこと)

< 解答状況 >

	解答類型	反応率
(正答)	1 条件①, ②, ③を満たしているもの	62.0 (+1.6)
	2 条件①, ②は満たしているが, 条件③は満たしていないもの	0.1
	3 条件①, ③は満たしているが, 条件②は満たしていないもの	9.4
	4 条件②, ③は満たしているが, 条件①は満たしていないもの	0.6
	99 上記以外の解答	21.6
	0 無解答	6.3

< 正答条件 >

- 1 話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」とは何かを明確にして書いている。
- 2 条件 1 で示した「どうするか決まっていないこと」を解決する具体的な案を考えて書いている。
- 3 実際に話すように書いている。

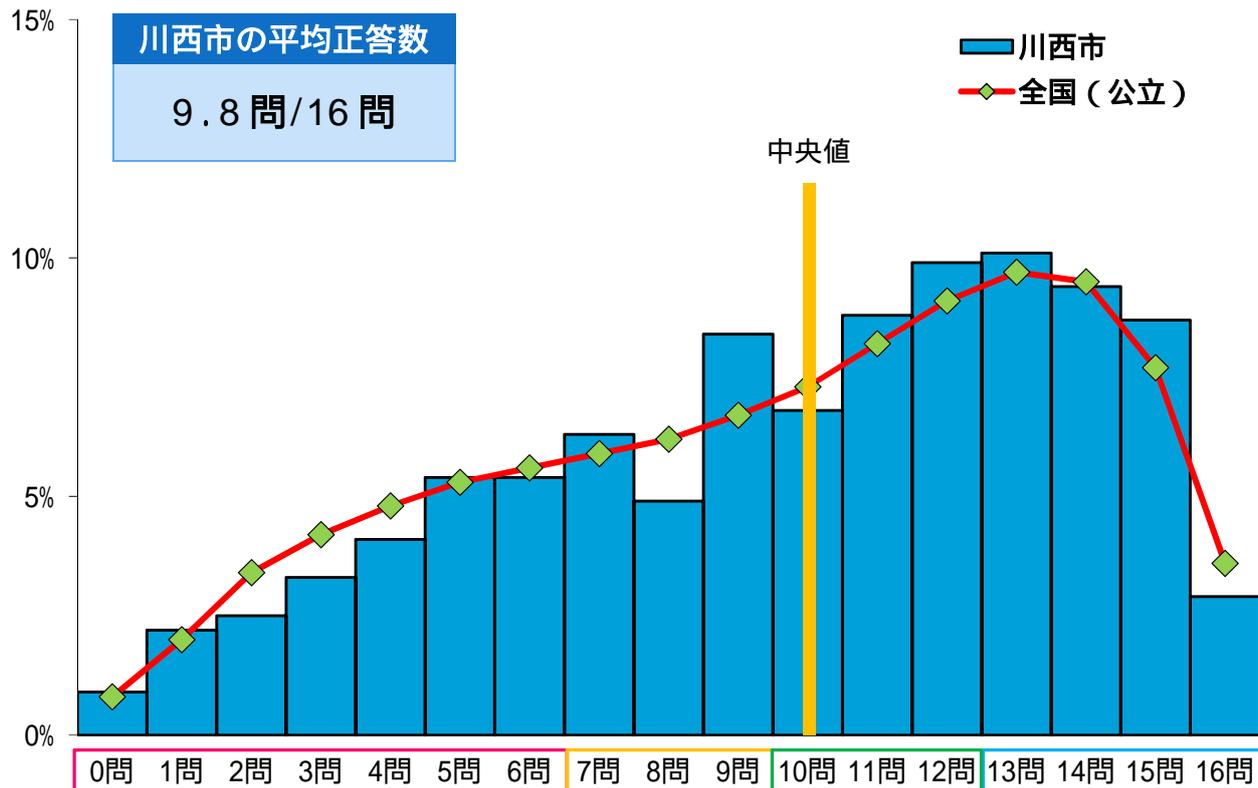
- ・正答率は62.0%で、全国比+1.6ポイント。
- ・誤答としては、条件2「条件1で示した「どうするか決まっていないこと」を解決する具体的な案を考えて書くこと」を満たしていない子どもが、9.4%で一番多い。
- ・文章からの読み取りはできるものの、自分の考えをもち、表すところにつまづきがあることが要因として考えられる。

課題解決に向けた学習のポイント

- ・自分の考えをもつために、記録を取りながら話し合いを行う学習活動を取り入れる。
- ・目的に応じた話し合いになっているか確認し、話し合いの仕方を見直しながら活動する。

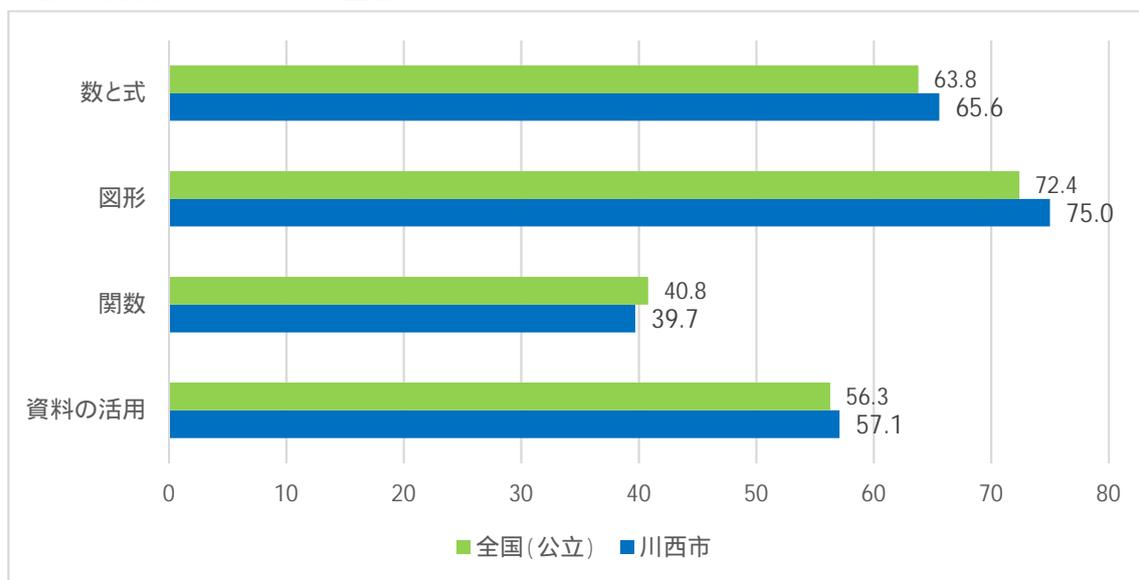
【中学校 数学】

ア 正答数の分布状況



- ・全国と比較し、第1層の分布が少なく、第3層・第4層が多い。
- ・9問を境に、0問～8問と9問～16問と2つの群に分かれている。それぞれの学習状況に応じた授業形態の工夫が望まれる。

イ 学習指導要領の領域別平均正答率



「数と式」「図形」「資料の活用」は全国を上回っている。

ウ 問題別解答状況

問題 番号	問題の趣旨	領域	正答率		無解答率	
			川西市	全国	川西市	全国
1	a と b が正の整数のとき、四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ	数と式	64.4	62.2	0.1	0.2
2	連立二元一次方程式を解く $\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$		68.3	70.1	4.1	5.1
3	ABCを、矢印の方向にDEFまで平行移動したとき、移動の距離を求める	図形	86.0	83.6	0.1	0.7
4	反比例の表から式を求める	関数	45.0	48.9	9.3	10.4
5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める	資料の活用	74.1	72.8	2.7	3.3
6 (1)	冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pのy座標と点Qのy座標の差が表すものを選ぶ	関数	39.0	38.8	0.2	0.3
6 (2)	冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する		35.0	34.7	11.9	11.6
7 (1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	図形	78.3	75.8	4.1	5.2
7 (2)	ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明として正しいものを選ぶ		81.1	77.2	0.4	0.5
7 (3)	四角形ABCDがどのような四角形であれば、 $AF = CE$ になるかを説明する		54.8	53.3	15.1	17.6
8 (1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料の活用	58.7	57.9	8.5	10.6
8 (2)	「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する		40.2	40.8	19.7	21.3

ピックアップ!

8 (3)	図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ	資料の活用	55.5	53.6	0.8	1.0
9 (1)	説明をよみ、 $6n + 9$ を $3(2n + 3)$ に変形する理由を完成する	数と式	59.2	57.4	6.0	9.5
9 (2)	連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する		64.5	59.7	12.7	17.8
9 (3)	連続する4つの奇数の和が $4(2n + 4)$ で表されたとき、 $2n + 4$ はどんな数であるかを選ぶ		71.4	69.6	1.0	1.9

ピックアップ問題

資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる(資料の活用)

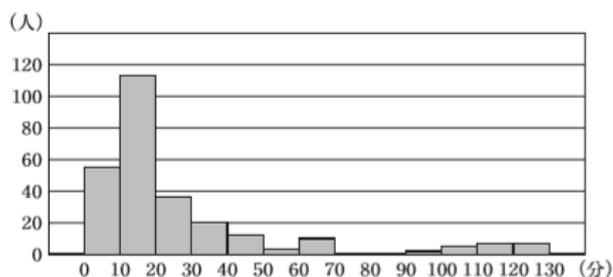
8 (2)

桃子さんが作ったヒストグラムを見ると、航平さんのように「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだ」という考えは適切でないことがわかります。その理由を、桃子さんが作ったヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。

航平さんが作った表

	平均値	最大値	最小値
1日あたりの読書時間(分)	26.0	120	0

桃子さんが作ったヒストグラム



二人は、上の航平さんが作った表と桃子さんが作ったヒストグラムについて話し合っています。

航平さん「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだね。」
 桃子さん「でも、ヒストグラムを見ると26分ぐらいの生徒が多いとはいえないのではないかな。」

< 解答状況 >

	解答類型	反応率
正答	①, ③を満たしているもの	0.1
	②, ③を満たしているもの	14.8
	①のみ記述しているもの	0.4
	②のみ記述しているもの	24.9
	①について、形状のみを記述しているもの	0.3
	②について、度数の大小のみを記述しているもの	9.7
	③のみ記述しているもの	2.2
	ヒストグラムについて読み取りを誤って記述しているもの	2.5
	上記以外の解答	25.4
	無解答	19.7

< 正答条件 > 次の①, ③または、②, ③について記述しているもの。

- ① 1日あたりの読書時間である26分が、山の頂上の位置にないこと
- ② 1日あたりの読書時間である26分が、度数の最大である階級に含まれていないこと。
- ③ 1日あたりに26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだが、という考えは適切ではないこと。

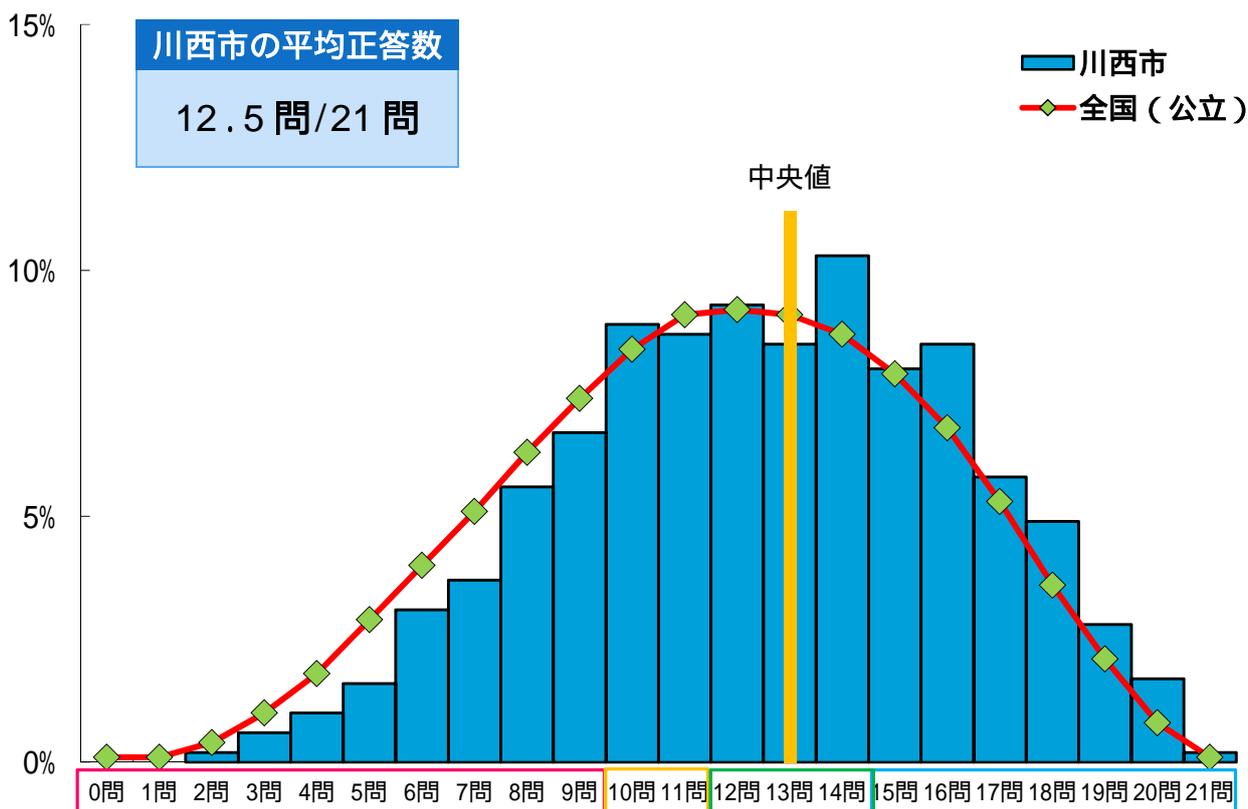
- ・正答率は40.2%で、全国比+0.6ポイント。
- ・平均値、最頻値、中央値等を正しく理解していないことが要因として考えられる。
- ・無解答率は19.7%。

課題解決に向けた学習のポイント

- ・表、式、グラフなどの「用いるもの」とその「使い方」について明らかにすることができるようにする。
- ・具体的な場面において、事象を理想化したり、単純化したりして数学の問題として捉え、日常生活における問題を数学を活用して解決できるようにする。
- ・代表値を求めたりデータの分布の様子を読み取ったりする場面を設定し、その傾向を捉えて、多面的に吟味し、判断できるようにする。
- ・データの分布の特徴を捉えて、説明すべき事柄とその根拠を明確にして説明できるようにする。
- ・分布が非対称であったり、極端にかけ離れた値があったりする場合を取り上げ、目的に応じてどのような代表値を用いるべきかを考察する活動を取り入れる。

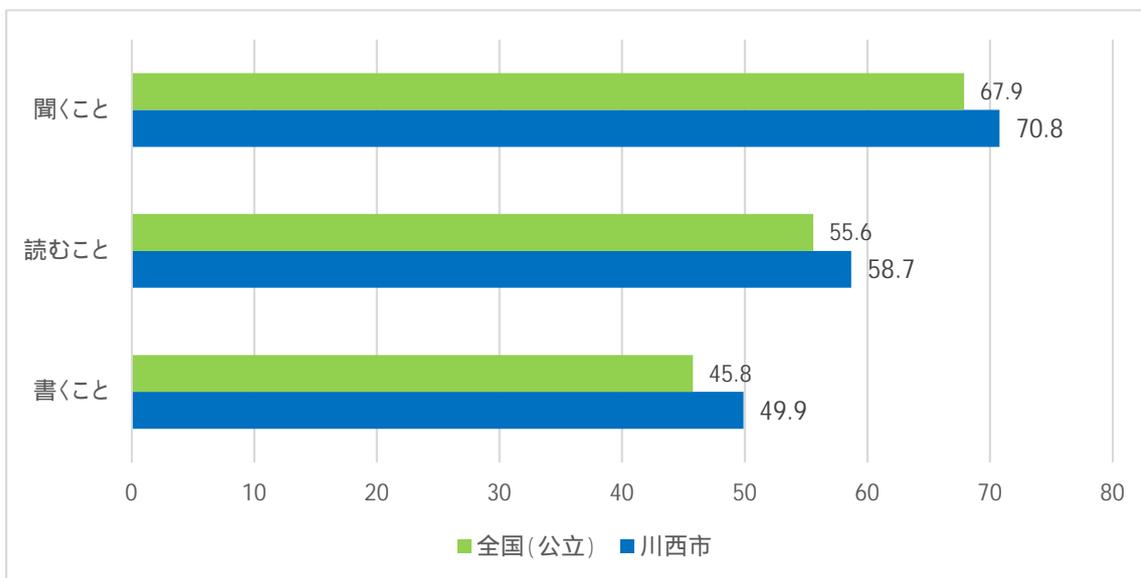
【中学校 英語】

ア 正答数の分布状況



全国と比較し、第1層の分布が少なく（0問、1問は分布なし）、第4層の分布が多い。

イ 学習指導要領の領域別平均正答率



- ・全国と比較して、全ての領域で上回っている。
- ・特に「書くこと」では全国比+4.1ポイント上回っている。

ウ 問題別解答状況

問題 番号	問題の趣旨	領域	正答率		無解答率	
			川西市	全国	川西市	全国
1 (1)	ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	聞くこと	91.0	91.1	0.1	0.2
1 (2)	教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する		92.8	88.6	0.1	0.1
1 (3)	外国人の先生と女子生徒の会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する		80.6	72.3	0.2	0.2
1 (4)	家での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する		63.6	61.8	0.1	0.2
2	イギリスと日本の類似点や相違点についてのスピーチを聞いて、話の展開に合わせて示す絵を並び替える		75.6	71.8	0.1	0.2
3	天気予報を聞いて、ピクニックに行くのに最も適する曜日を選択する		82.4	82.0	0.1	0.2
4	来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く		9.9	7.6	34.6	42.3
5 (1)	ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する	読むこと	83.8	79.4	0.3	0.2
5 (2)	ある状況を描写する英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する		79.0	74.4	0.3	0.2
5 (3)	月ごとの平均気温を表したグラフを見て、その内容を正しく表している英文を選択する		76.6	73.1	0.4	0.4
6	発表活動のためにまとめられた100円ショップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する		64.5	62.9	0.4	0.4

7	チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する	読むこと	34.8	32.8	0.9	1.0
8	食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く	書くこと	13.4	10.9	22.5	27.9
9 (1)	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	書くこと	80.0	79.9	0.0	0.3
9 (1)	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する		65.3	58.2	0.2	0.5
9 (2)	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く		80.5	73.6	2.5	4.4
9 (2)	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く		33.3	28.9	9.3	12.6
9 (3)	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く		53.7	53.5	5.2	6.4
9 (3)	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く		42.5	32.9	5.8	9.3
9 (3)	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く		41.8	37.4	7.3	10.5
10	学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く			2.3	1.8	5.5

ピックアップ!

10

ピックアップ問題

与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる
(書くこと)

10
海外のある町が、外国人旅行者にも分かりやすいタウン・ガイドを作成するために、「学校」を表す2つのピクトグラム（案内用図記号）のうち、どちらがよいかウェブサイトで意見を募集しています。どちらかの案を選び、2つの案について触れながら、あなたの考えを理由とともに25語以上の英語で書きなさい。



< 解答状況 >

	解答類型	反応率
(正答)	①, ②, ③を満たし、正確な英語（語や文法事項等の誤りがない）で書いている。	0. 2
	①, ②, ③を満たし、おおむね正確な英語（コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがない）で解答しているもの	0. 7
	①, ②, ③を満たしているが、2つの案の触れ方について具体性にかけるもの	1. 4
	コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがあるもの	35. 7
	上記以外の解答	10. 4
	無解答	5. 5

< 正答条件 >

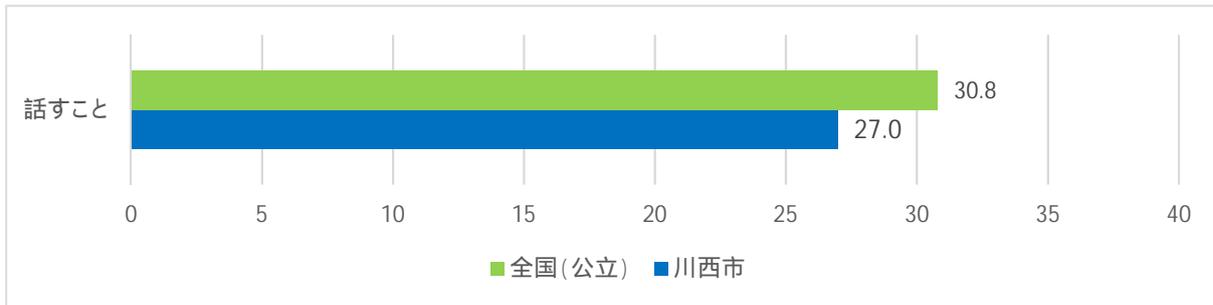
- ① どちらの案がよいか、1つ選んで意見を書いている。
- ② 選んだ理由等について、2つの案に触れながら書いている。
- ③ 25語以上の英語で書いている。

- ・ 正答率は2. 3%。
- ・ 誤答としては、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがあるので、35. 7%と一番多い。

課題解決にむけた学習のポイント

- ・ ペアで英文を読み合い、誤りに気づいたり、修正を加えたりする活動を行う。
- ・ 読んだことについて、感想や賛否、自分の考えを話したり書いたりして表現するなど、読む活動だけで終わらないように授業を組み立てる。
- ・ 生徒が積極的に英語を使う場面を授業の中で設定する。

話すこと（参考） 「話すこと」について、国は市教委ごとの集計を行っていないため、市独自に集計した



問題番号	問題の趣旨	領域	正答率		無解答率	
			川西市	全国	川西市	全国
1 (1)	カレンダーを見て、少女の誕生日を答える	話すこと	26.4	27.3	3.6	8.6
1 (2)	テレビを見ている2人の子供の絵を見て、何をしているのか答える		38.5	44.7	3.3	6.6
1 (3)	バスで登校する少年の絵を見て、交通手段を答える		23.2	25.7	3.6	7.0
2	ユイコとアラン先生のやり取りを聞き、その内容を踏まえて会話が続いていくように、即興で質問をする		11.4	10.5	10.1	20.7
3	海外のテレビ局の要望に応じて、自分の将来の夢、またはやってみたいこと等を話す		36.0	45.8	2.4	4.6

ピックアップ!

ピックアップ問題

話してほしい内容
 (①, ②のどちらも話してください)

①あなたの将来の夢、または、将来やってみたいこと
 ②その実現のために頑張っていること、やるべきこと



大問3 あなたの学校で、海外のあるテレビ局が「世界の子供たちの夢」というテーマで番組を収録しています。画面にある話してほしい内容の①, ②について、英語で話してください。1分間、内容を考えたあと、30秒で話します。それでは、内容を考えましょう。
 (考える時間1分)
 それでは、30秒で話してください。
 (解答時間30秒)

制限時間のある中、まず、自分の考えをまとめることが必要となる。次に、考えたことを英文に直し、口述式で答えるという段階を踏まないと正答とならない。即興で自分の考えを伝える力が求められるため、口述によるやりとりを授業の中で繰り返し行い、英語を使いながら身に付けて場になれていくことが必要と考えられる。また、自分の意見を英語で話す機会を授業中に意図的に設定する工夫が求められる。

3 平成31年度生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果

(1) 項目別結果

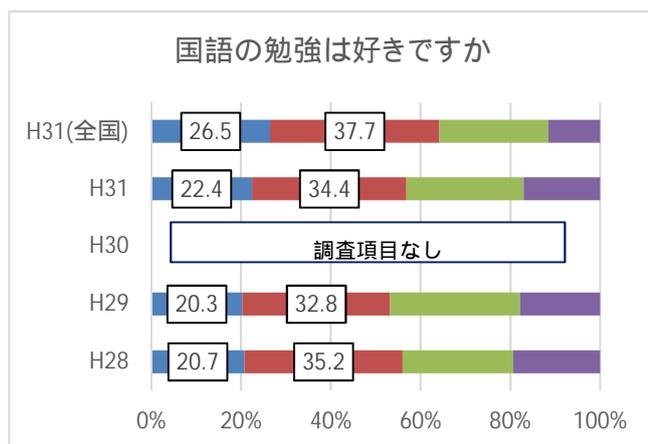
(グラフの凡例)

あてはまる	どちらかといえばあてはまる
どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない

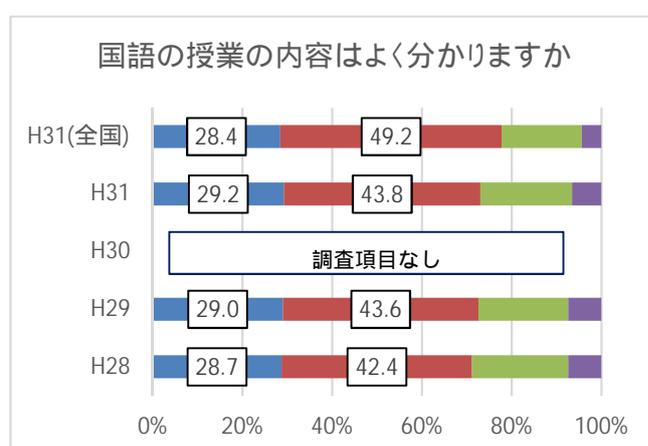
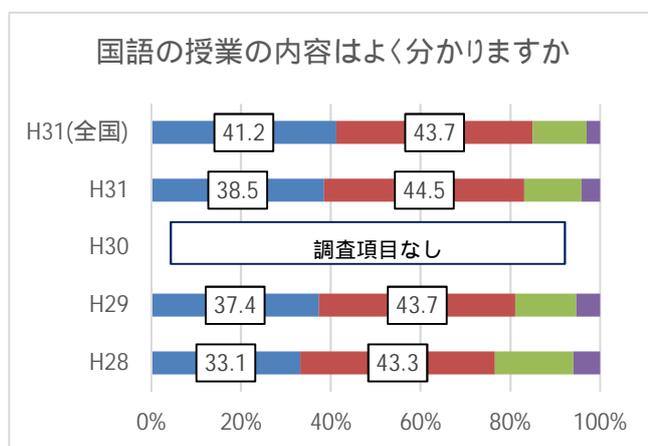
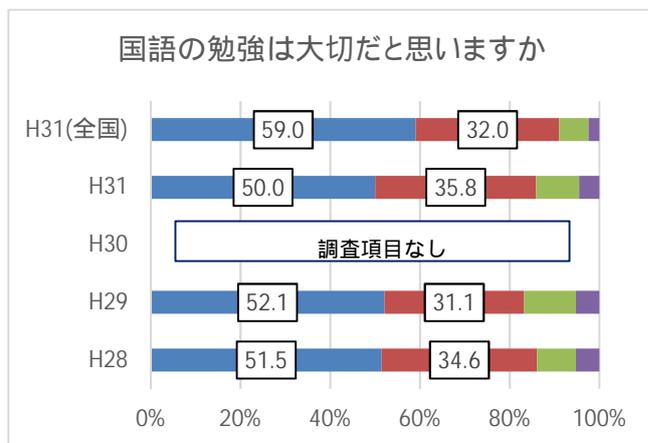
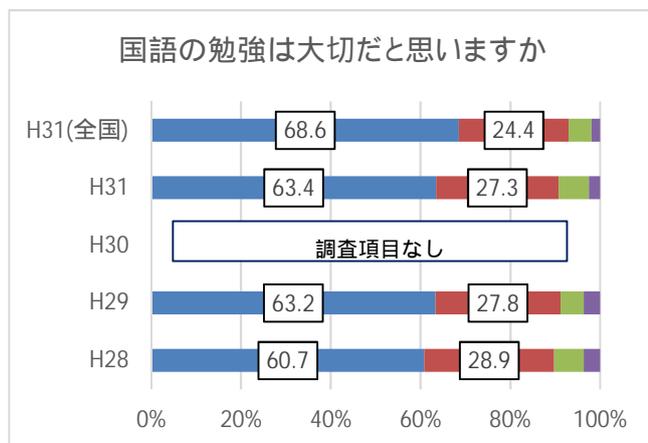
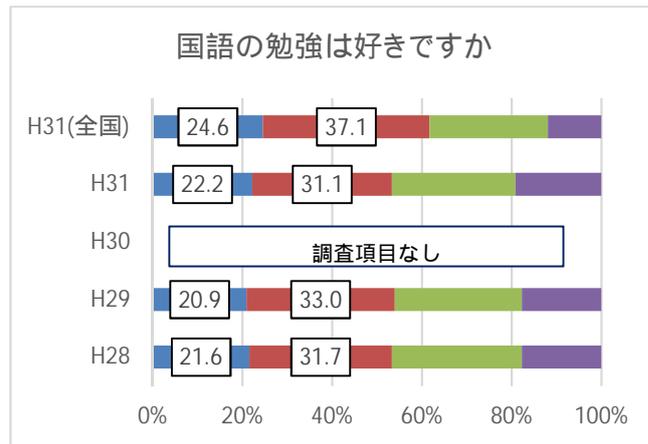
* 「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を肯定群とし、経年比較を行った。

学習意欲

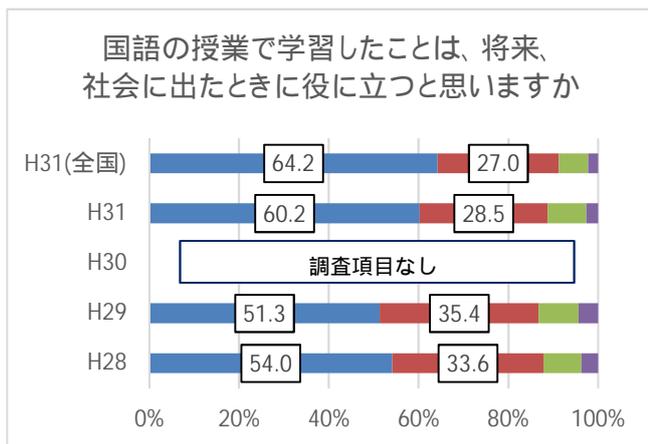
【小学校】



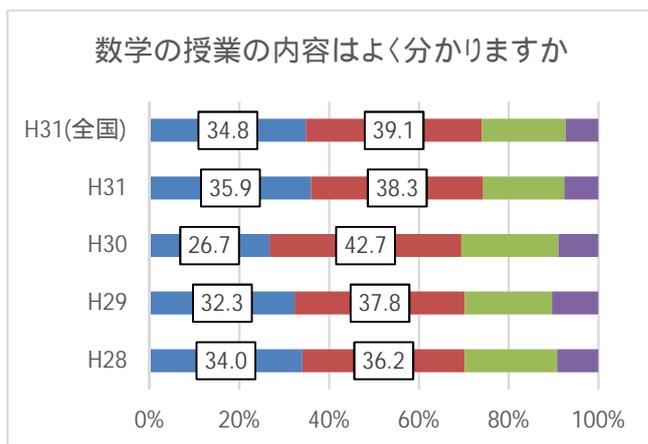
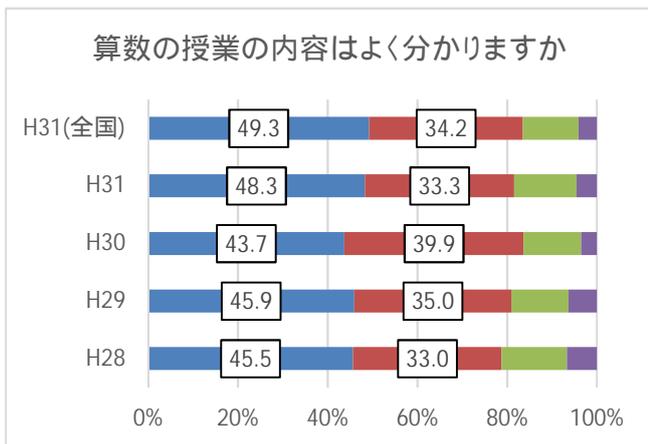
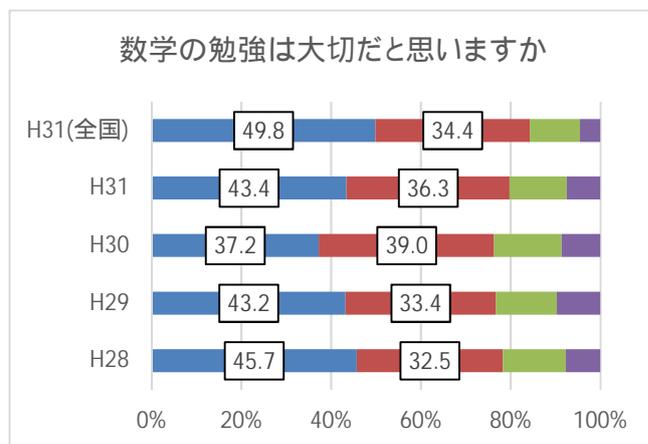
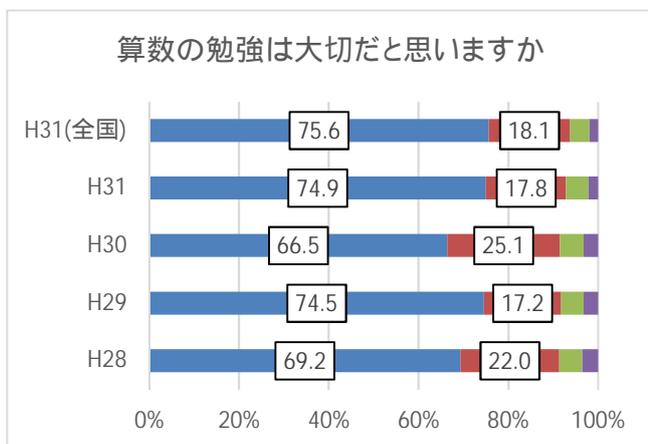
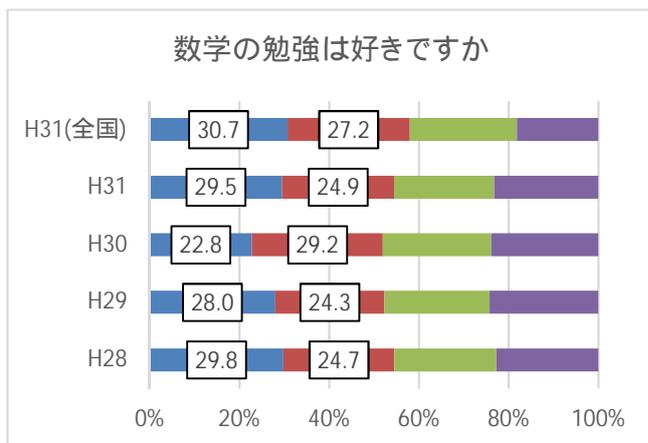
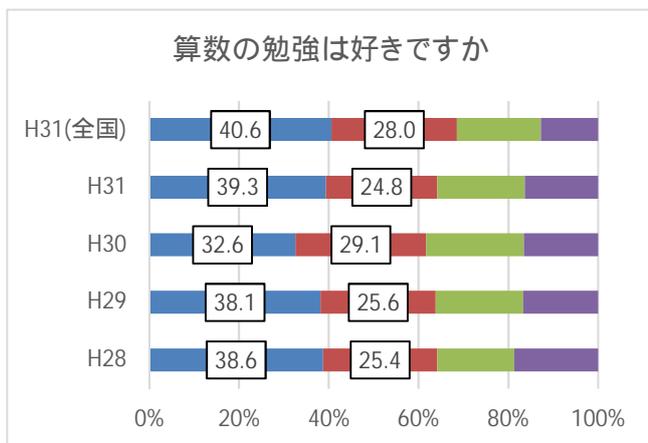
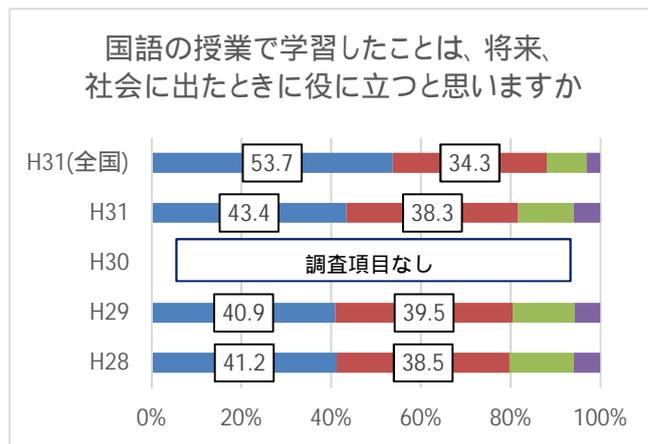
【中学校】



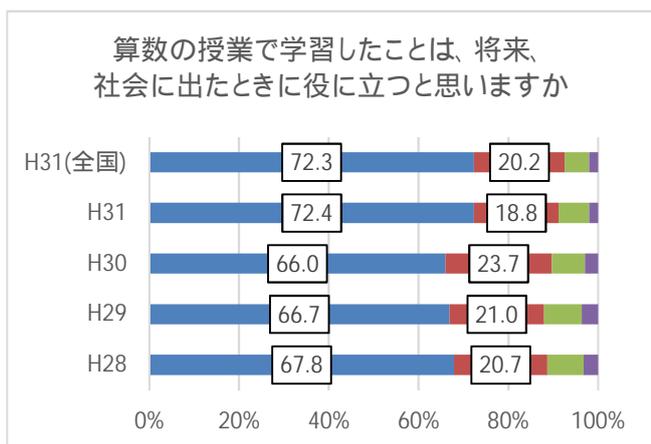
【小学校】



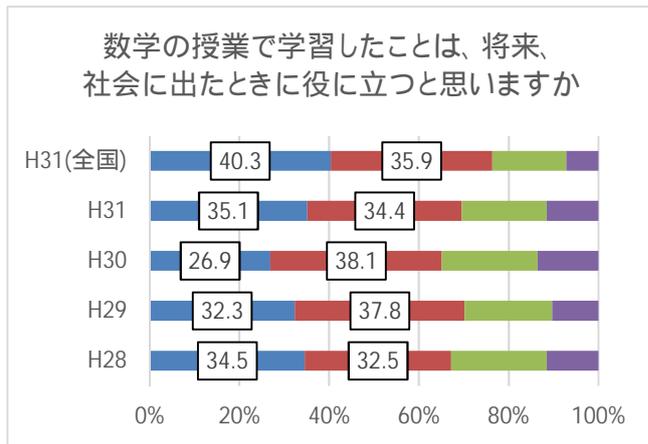
【中学校】



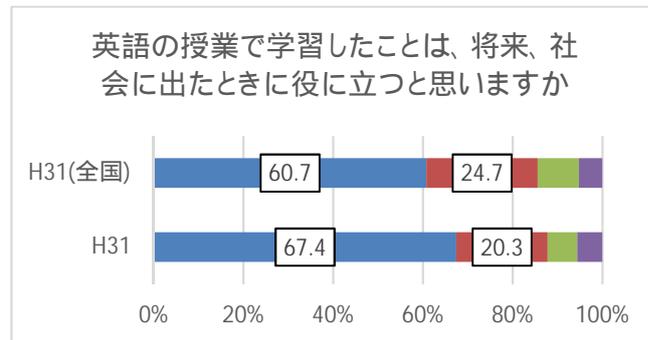
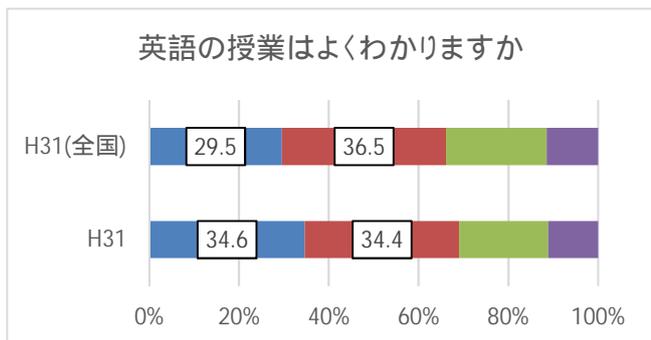
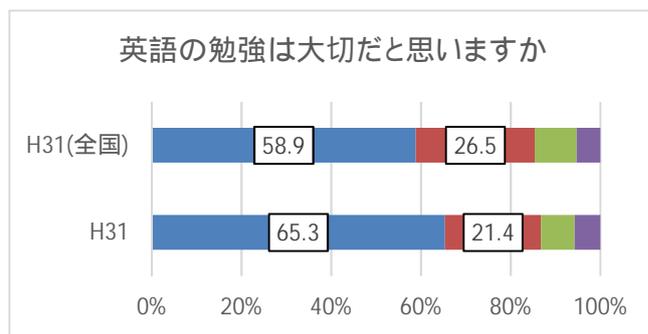
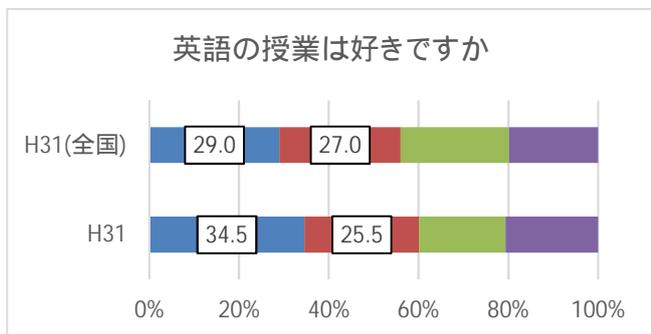
【小学校】



【中学校】



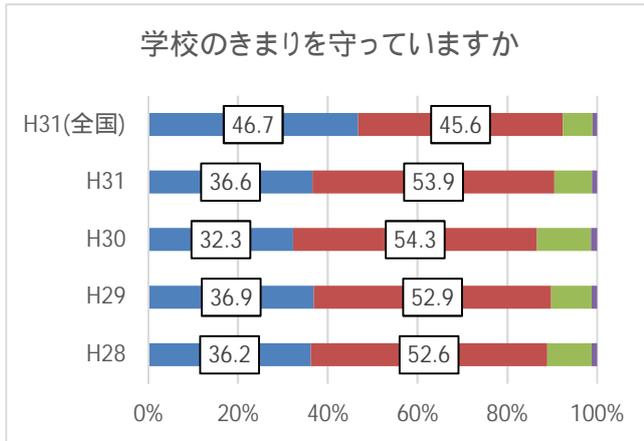
【中学校のみ】



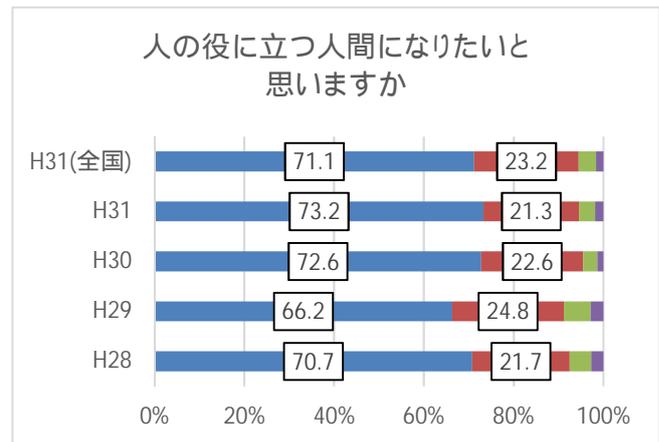
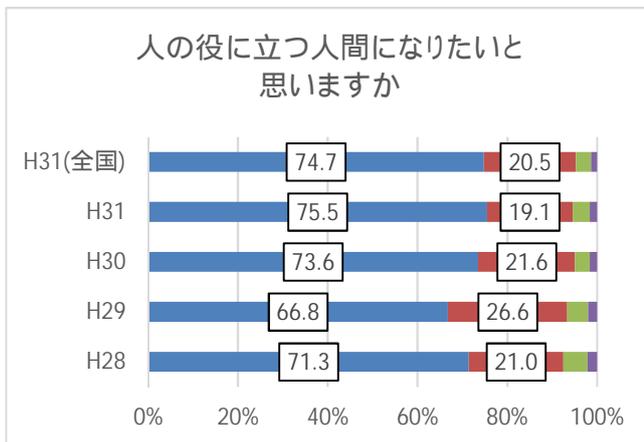
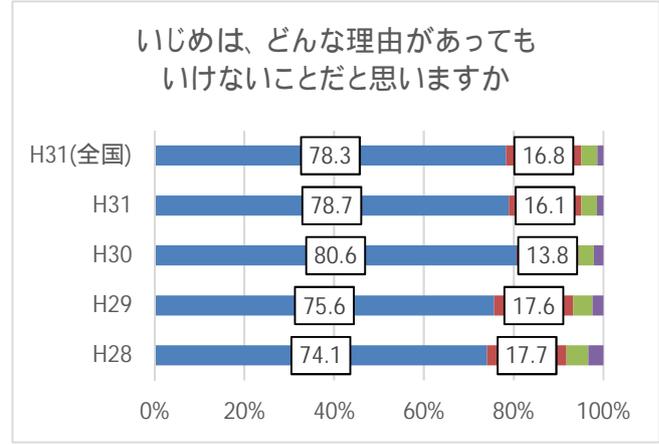
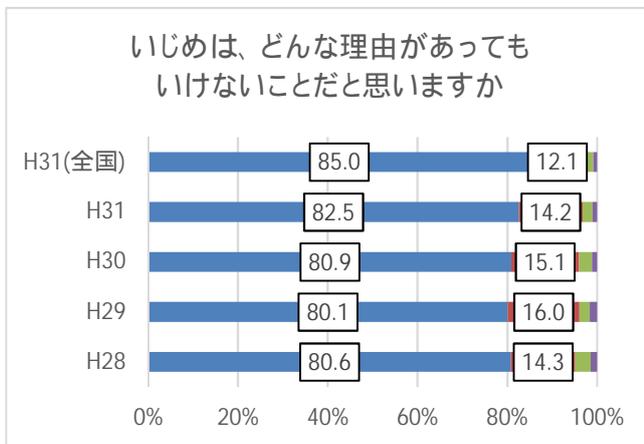
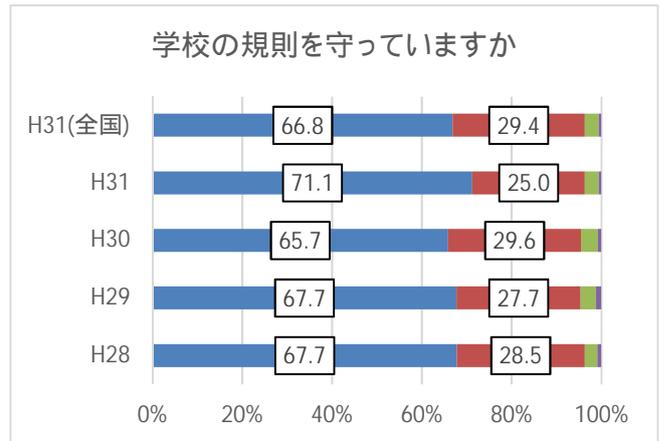
- ・学習意欲に関する項目については、小学校で5項目、中学校で3項目の上昇が見られた。
- ・小学校においては、「国語の授業が好き」「国語の授業の内容はよく分かる」に関して上昇している。実感として、授業を意欲的に受け、内容がよく分かっている様子が見られる。ただし、全国と比較すると「国語の授業が好き」については、小学校・中学校ともやや低いため、さらなる授業の工夫が求められる。
- ・小学校・中学校ともに「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」の項目が上昇しており、学習と将来を関連付けている様子が見られる。
- ・今年度初めて行った英語に関する調査では、全4項目において、肯定群（あてはまる・どちらかと言えばあてはまる）が全国よりも高い結果となった。

規範意識

【小学校】



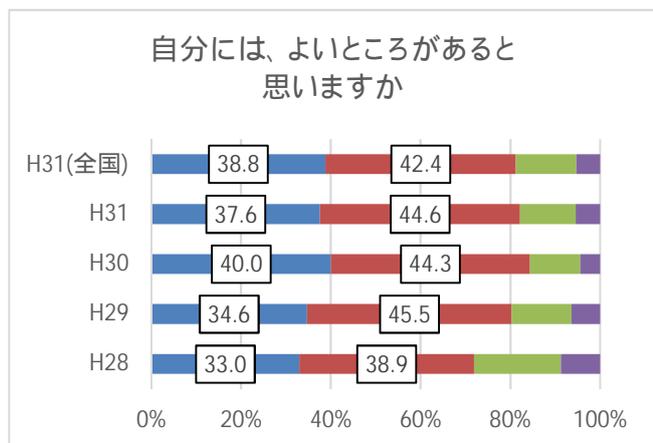
【中学校】



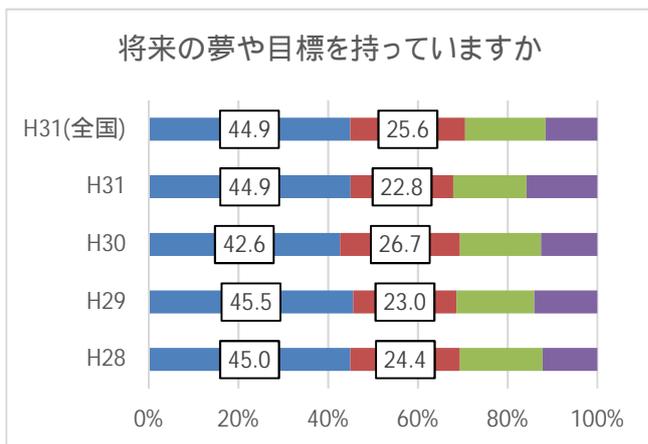
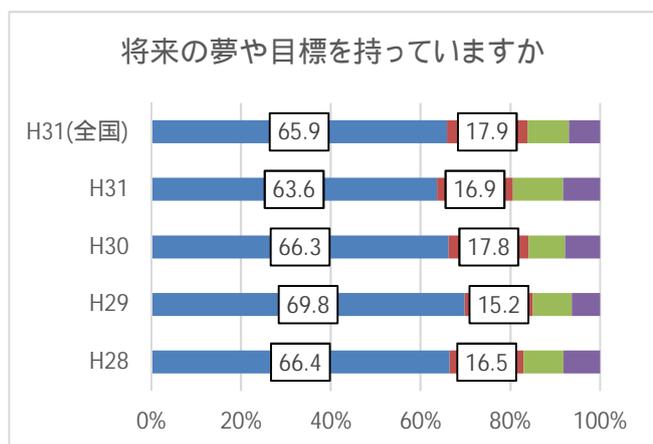
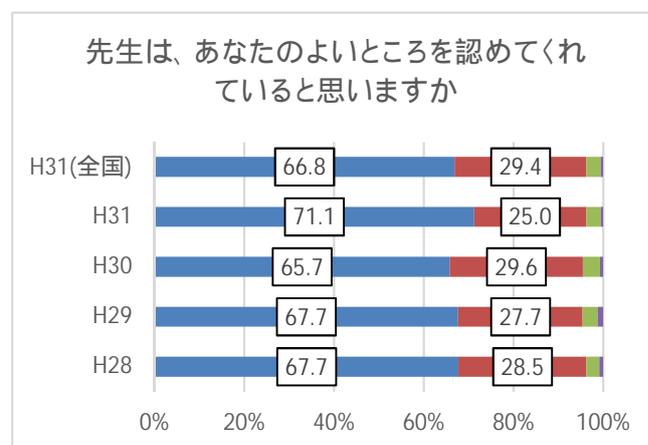
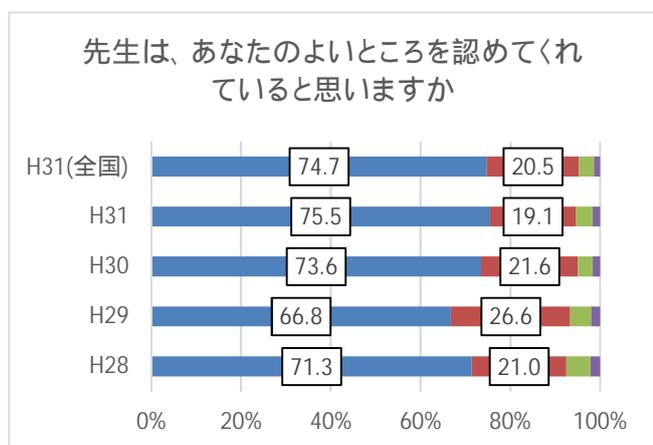
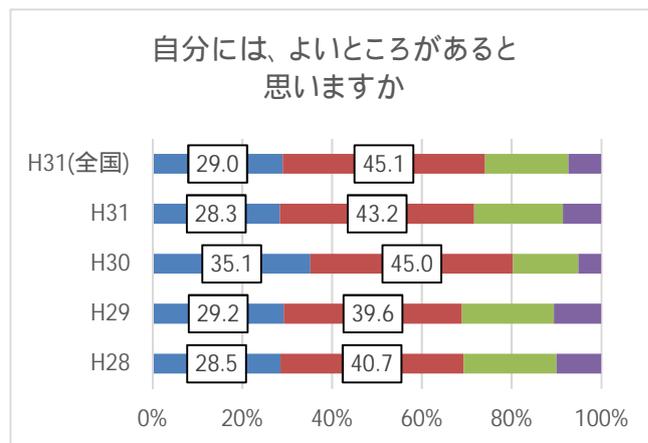
- ・小学校では「学校のきまりを守っている」「いじめは、どんな理由があってもいけなないことだと思う」が上昇しており、規範意識の高まりが見られる。
- ・中学校では、各項目において、肯定群が一定の水準を保っており、規範意識は全体として高いと考えられる。

自己有用感（自尊感情）

【小学校】



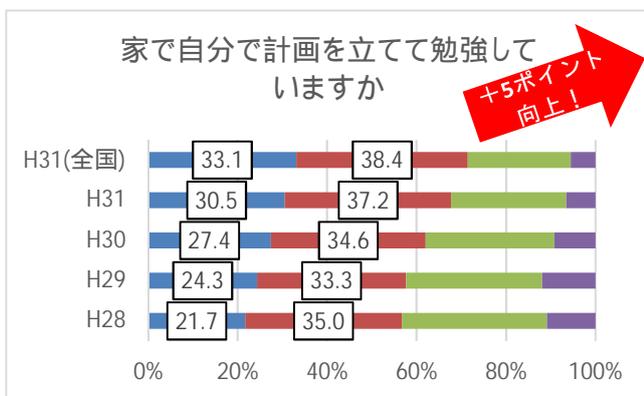
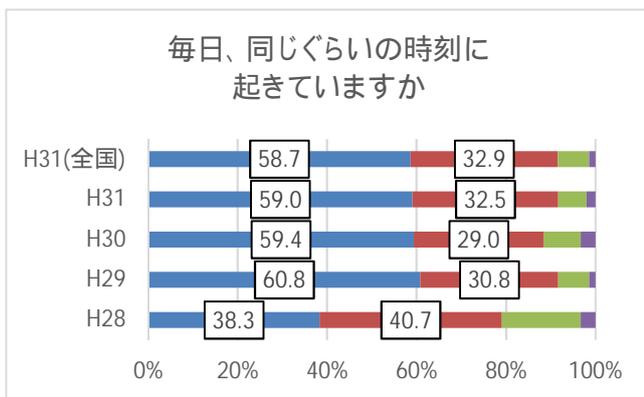
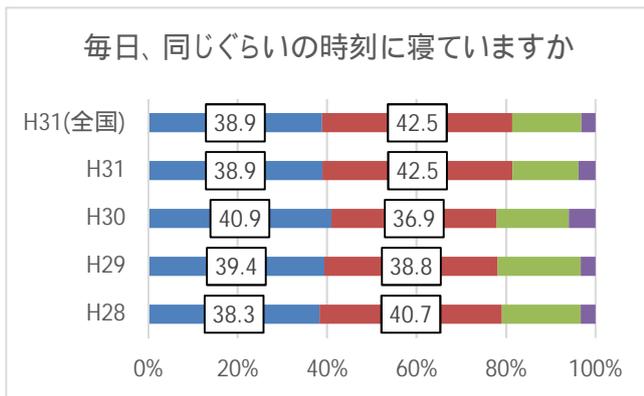
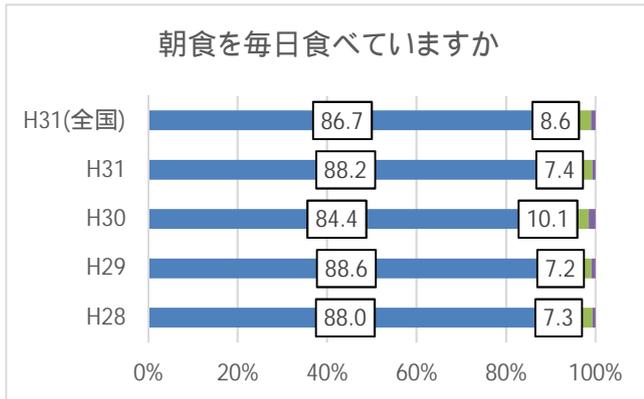
【中学校】



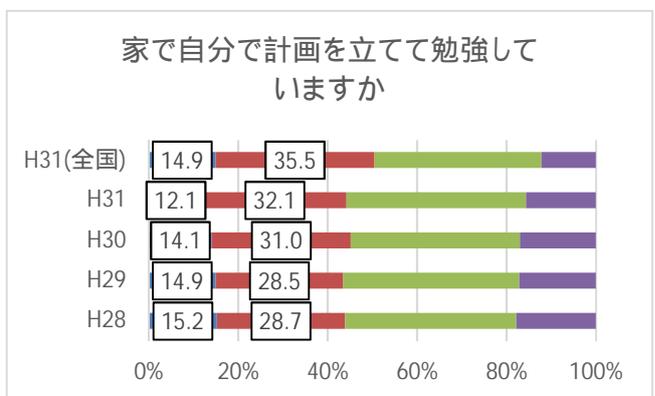
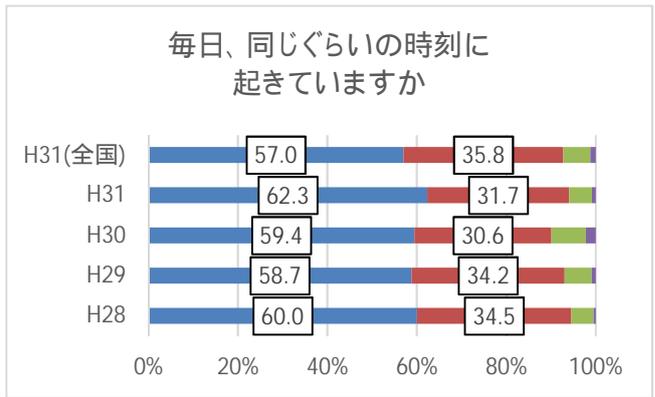
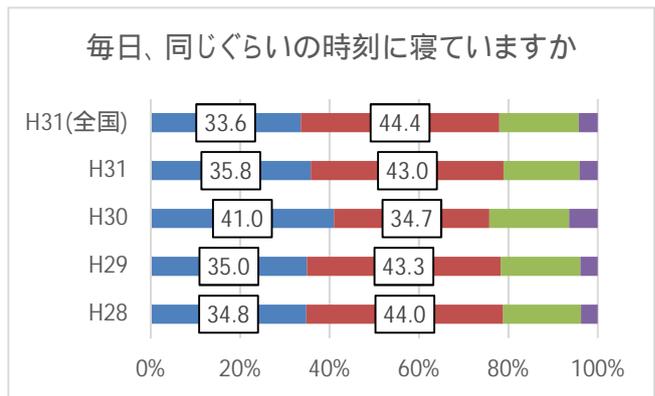
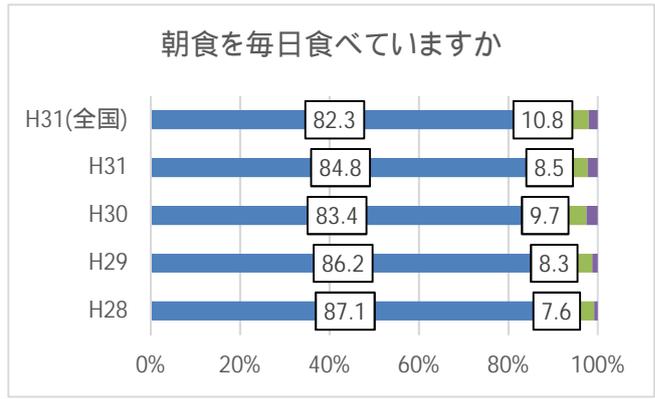
- ・小学校では、全国と比較し「自分には、よいところがあると思う」が高い水準にある。教育活動を通じて自尊感情の高まりがみられる。
- ・「将来の夢や目標をもっていますか」は全国と比較し、やや低くなっている。
- ・中学校では「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」が高い水準にある。
- ・「自分には、よいところがあると思う」「将来の夢や目標を持っている」が全国と比較し、やや低くなっている。

生活習慣（基本的生活習慣）・学習習慣

【小学校】



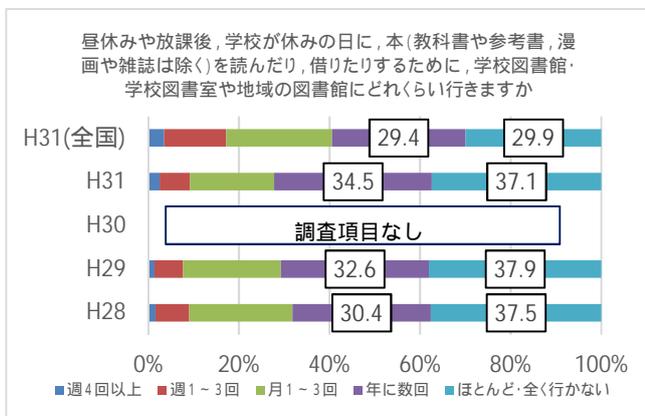
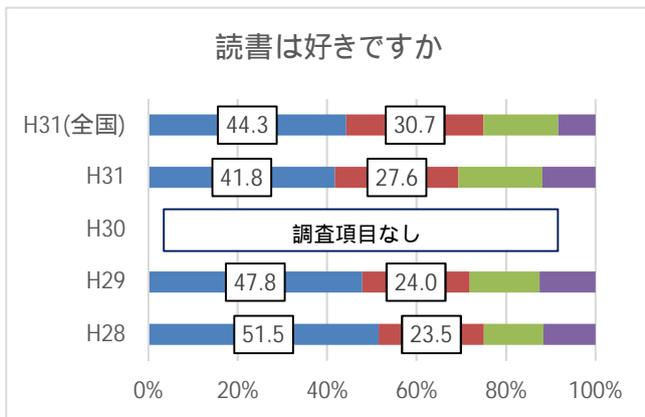
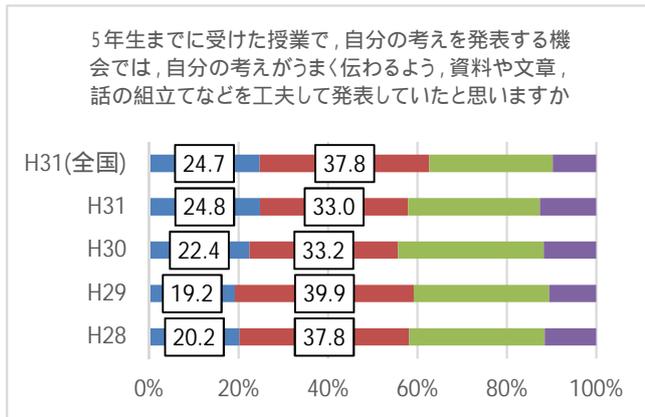
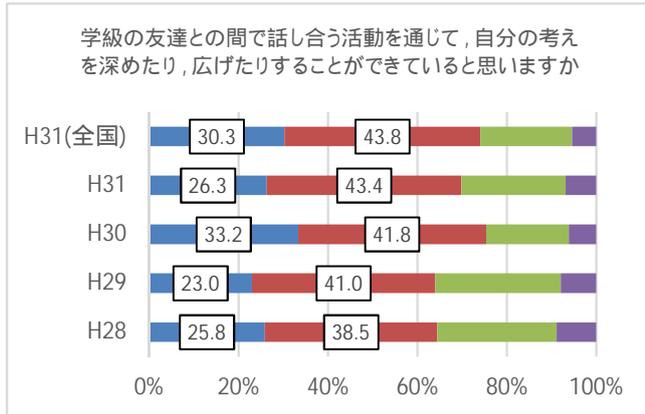
【中学校】



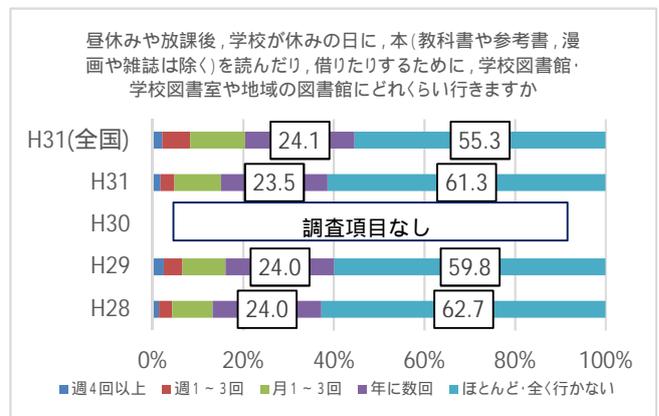
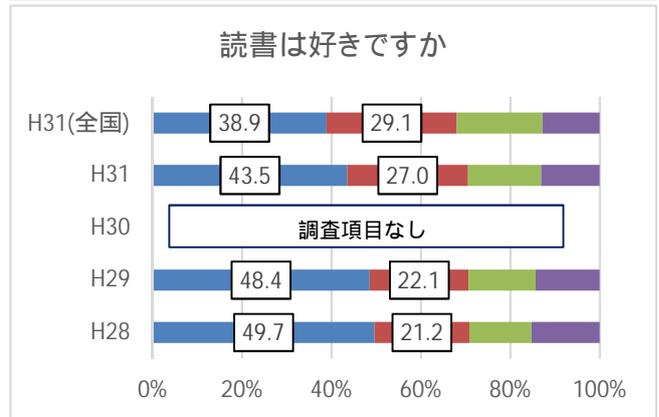
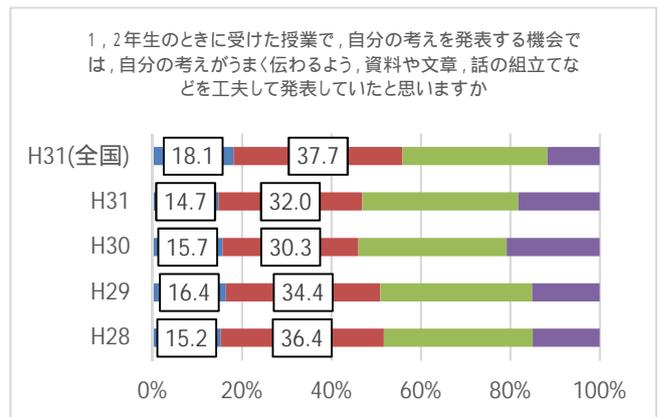
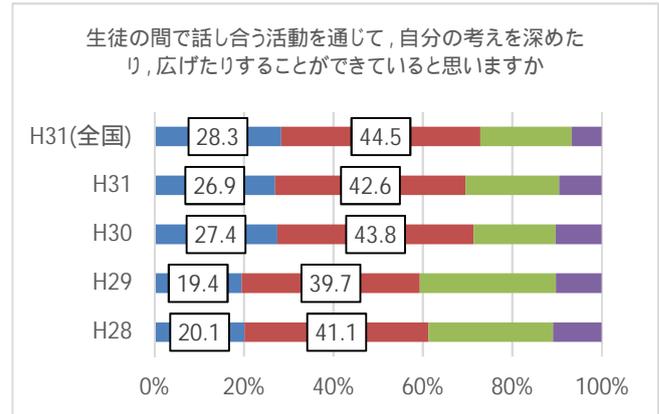
- ・小学校では、経年比較すると「家で自分で計画を立てて勉強している」が+5ポイント以上昇っており、家庭学習の定着が見られる。
- ・中学校では、全国を上回る項目が多い中、「家で自分で計画を立てて勉強している」が、全国よりもやや低い。

言語活動の充実と言語環境

【小学校】



【中学校】



- ・言語活動に関する項目は、数年前に比べ上昇してきているものの、全国と比較するとやや低い。
- ・図書館や図書室の利用についても、全国と比較するとやや低い。

(2) 平成 31 年度質問紙調査結果と学力のクロス分析

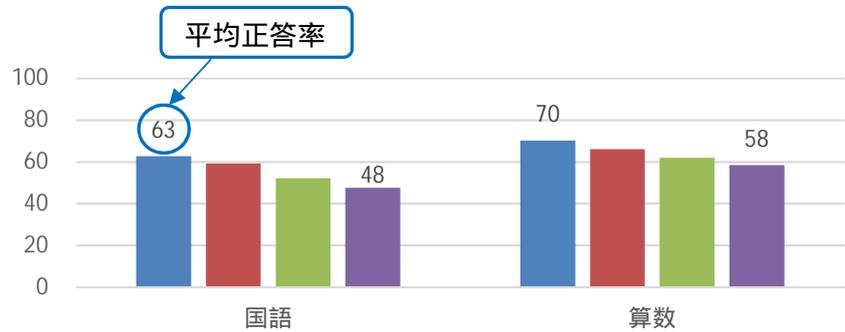
質問紙と教科調査について相関が見られたもの。(グラフの数値は平均正答率(%))

(グラフ凡例)

あてはまる	どちらかといえばあてはまる
どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない

【小学校】

家で自分で計画を立てて勉強していますか

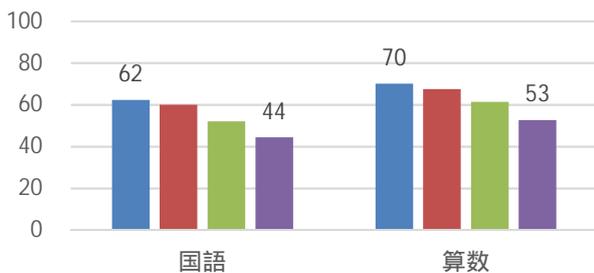


(グラフの見方)

「家で自分で計画を立てて勉強していますか」の質問項目に対し、「あてはまる」と回答した子どもの国語の平均正答率は63%(算数は70%)。一方、「あてはまらない」と回答した子どもの平均正答率は48%(算数は58%)。グラフが階段状になっていることから、この質問項目と教科の平均正答率は、相関していることがわかります。以下のグラフも同様。

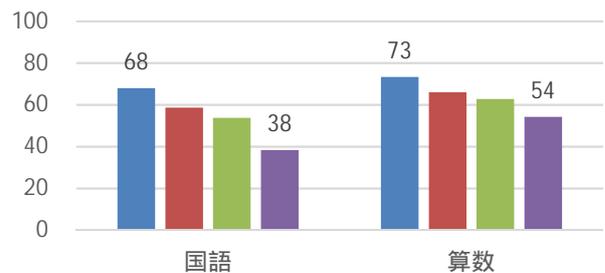
授業改善

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



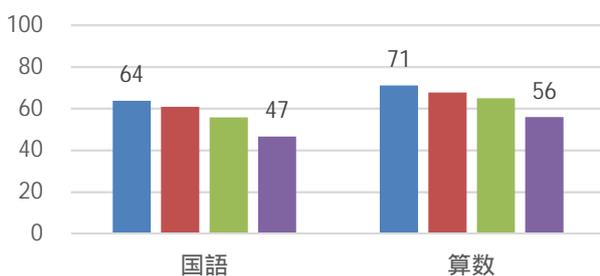
授業改善

国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか



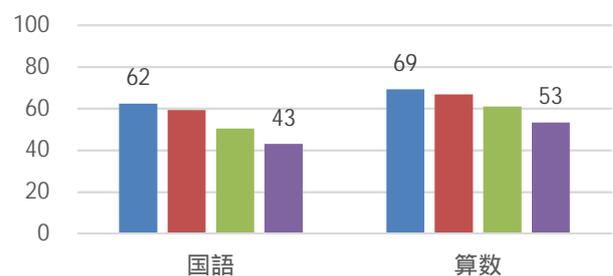
授業改善

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか



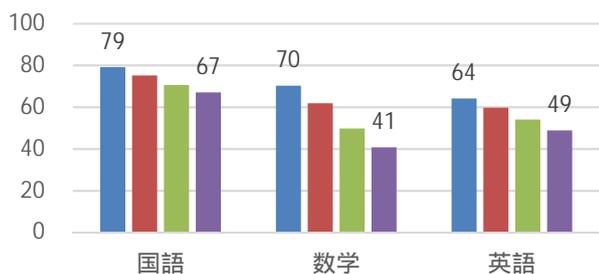
授業改善

道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか

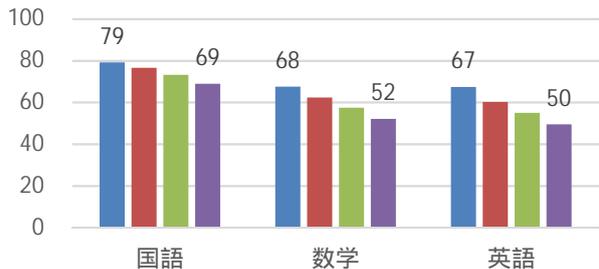


【中学校】

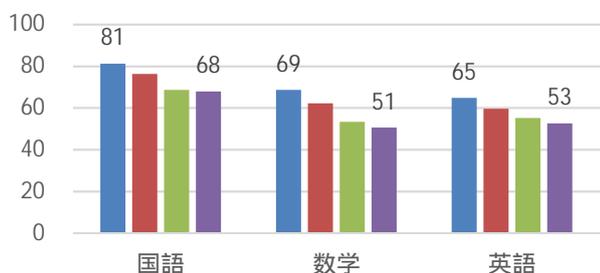
数学の授業の内容はよく分かりますか



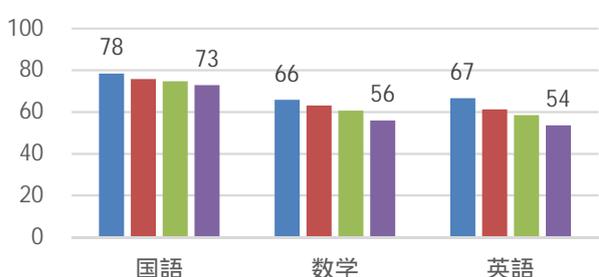
英語の勉強は好きですか



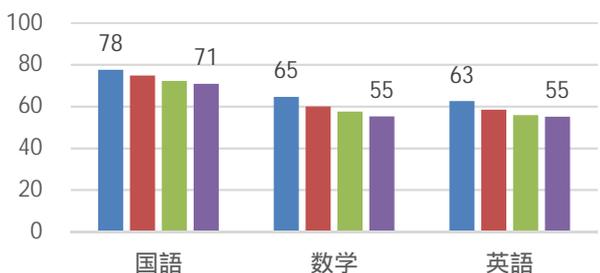
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか



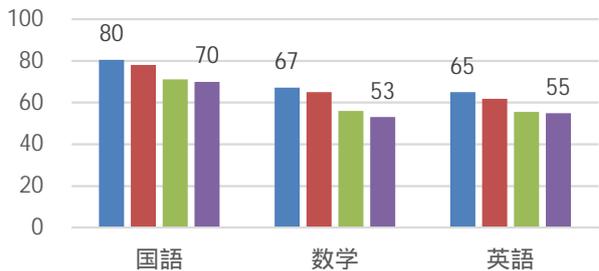
あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたたり職業に就いたりしたいと思いますか



1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか

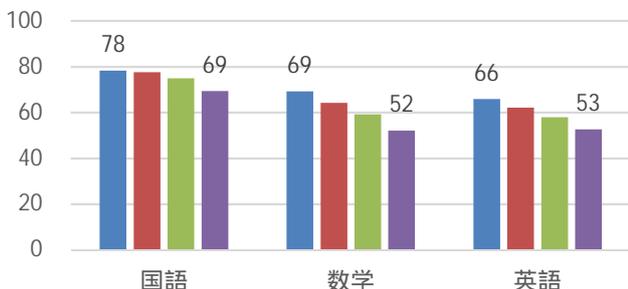


国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか



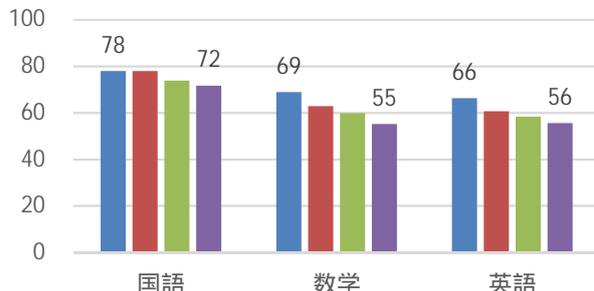
授業改善

1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか



授業改善

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか

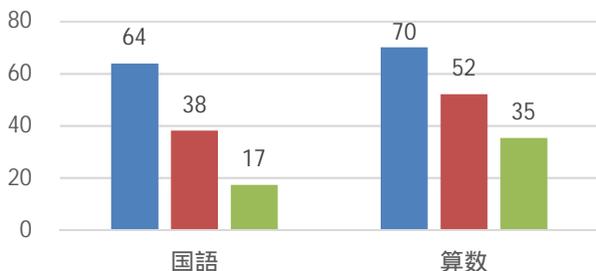


(グラフの凡例)

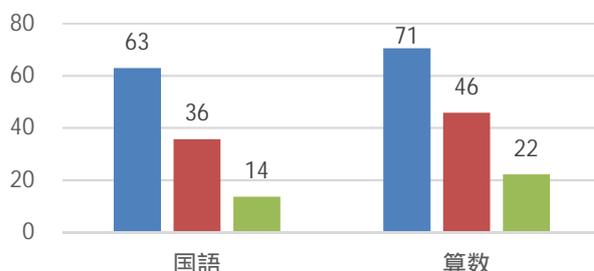
- 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた
- 書く問題は全く解答しなかった

【小学校】

今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか

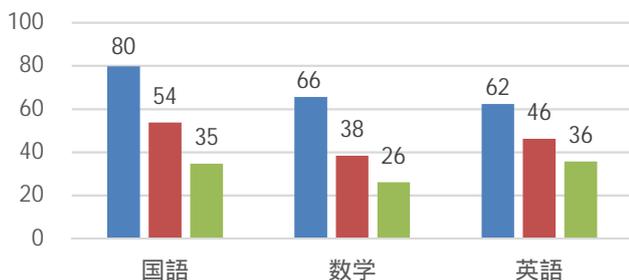


今回の算数の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。どのように解答しましたか

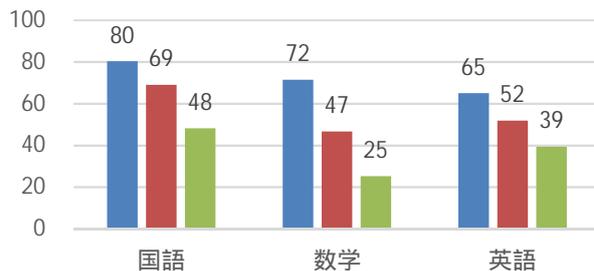


【中学校】

今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか

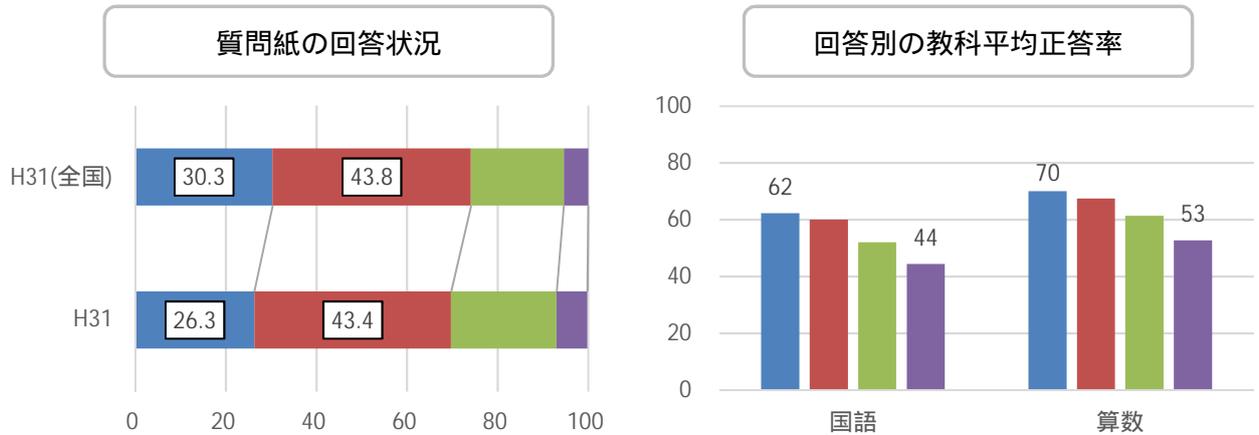


今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。どのように解答しましたか



(3) 質問紙から見える授業改善のポイント(**授業改善** のマークをつけた項目)

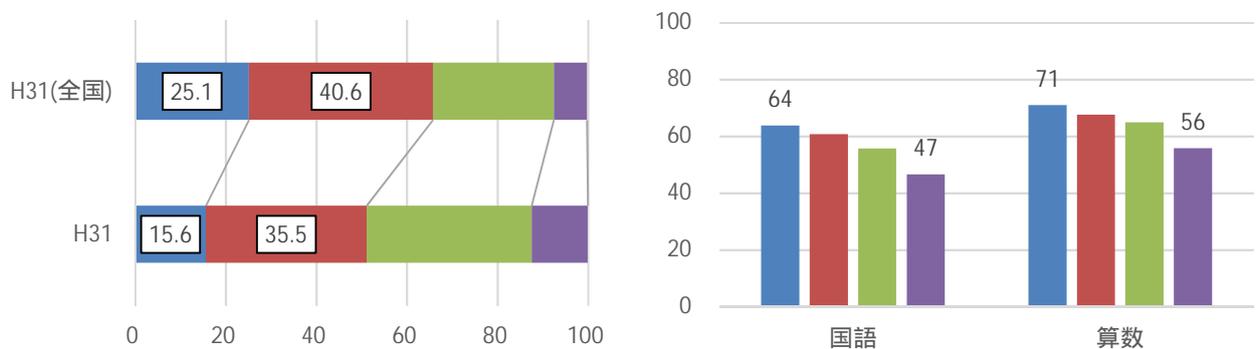
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか(小学校)



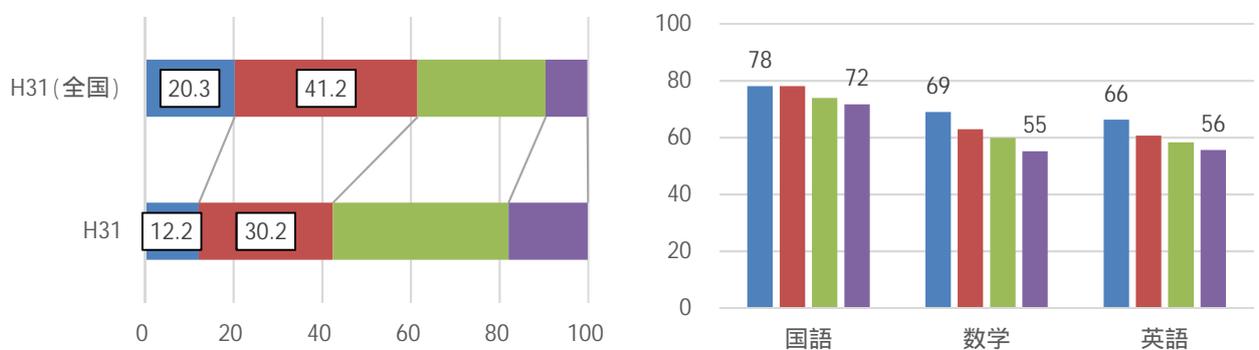
回答状況は全国比 - 4.4ポイント(肯定群)となっている。教科に関する調査と相関関係があることから、授業の中で、話し合う活動を効果的に取り入れて、自分の考えを深めて、広げていくことが授業改善のポイントとして考えられる。

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか(小学校・中学校)

(小学校)

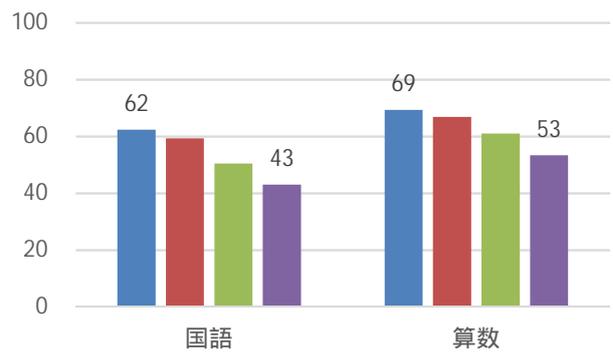
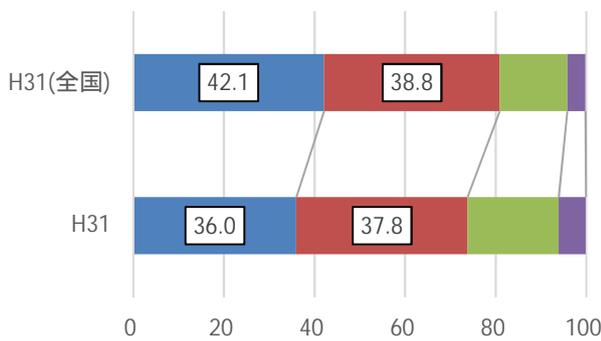


(中学校)



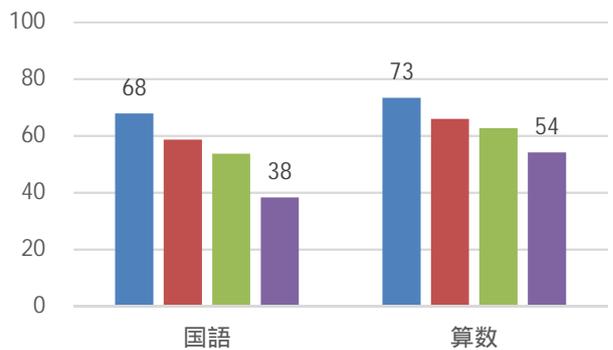
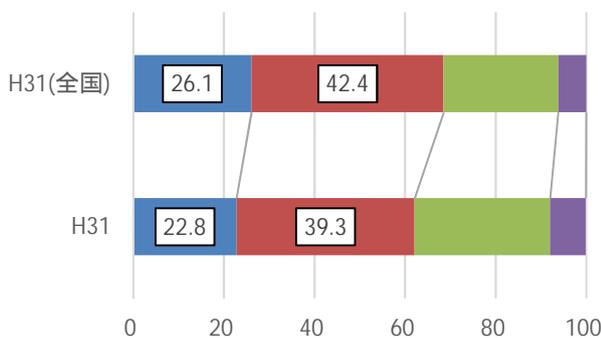
小学校では、全国比 - 14.6ポイント、中学校では全国比 - 19.1ポイントとなっている。総合的な学習の時間において、計画的に単元を組み立て、自分の考えをまとめ、発表する活動をより多く取り入れるなどの授業形態の工夫が求められる。

道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか（小学校）



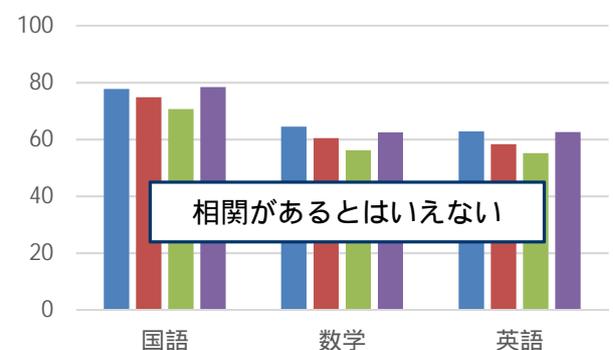
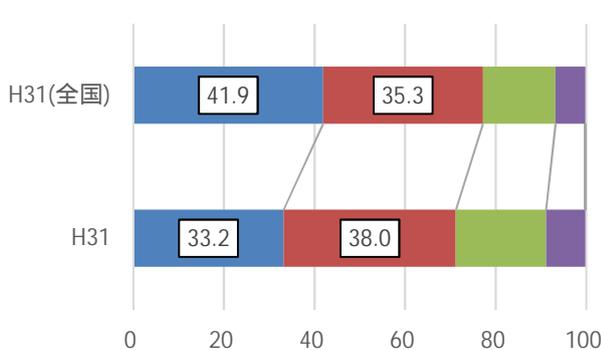
全国比 - 7.1ポイントとなっており、道徳の授業において、自分の考えをもち、ペアトーク等を取り入れるなど、考え議論する道徳を展開していくことが求められる。

国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか（小学校）



全国比 - 6.4ポイントとなっており、国語の授業において、相手に伝わるような話し方や表現の仕方を意識するような授業の工夫が求められる。

1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか。（中学校）



全国比 - 6.0ポイントとなっている。英語でスピーチやプレゼンテーションする活動を授業でより多く取り入れることで「話すこと」の向上につながると考えられる。

4 子ども達の学びを支える「学校、家庭・地域・PTA、教育委員会」の取り組み

今回の調査結果を受け、川西市教育委員会では以下のポイントについて、学校や家庭・地域等と協働して取り組みを進めたいと考えています。

総合的な学習の時間を中心に、教科横断的な学習を図ります。

各教科における学力を身に付けることはもちろん、これからの社会を生きていく上で大切なのは学んだ知識等を活用していく力となります。例えば、総合的な学習の時間では、課題設定 情報の収集 整理・分析 まとめ・表現といった活動が考えられます。情報の収集をするときには、国語のインタビューの力、社会の資料の活用、理科の観察に関する技能や知識等を活用することになります。また、整理・分析の際には、国語や算数・数学で身に付けた力の活用が必要となります。まとめ・表現では、相手にわかりやすく伝えるための様々な方法があり、国語、音楽、図画工作・美術で身に付けた力を複合的に使うこととなります。このように教科横断的な学習を行うことは、今までに習ったことを総合的に活用することになり、とても大切な学習となります。

(取り組み内容例)

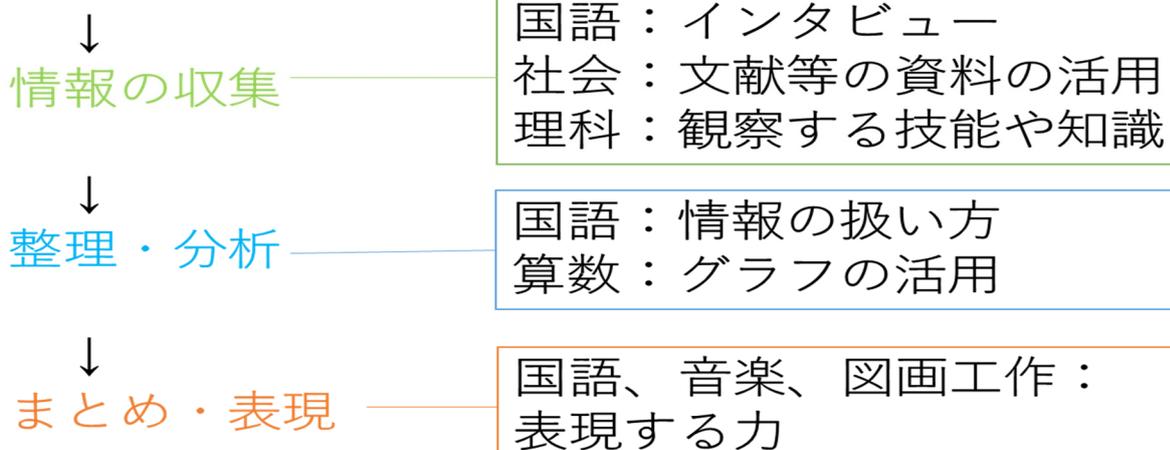
教育委員会...各校の優良事例を集め、教職員研修等において実践発表する機会を設ける。

学校...子どもたちの実態、地域の実態を考慮し、単元計画を立て、総合的な学習を中心に、教科横断的な学習を図る。

家庭、地域...総合的な学習の時間においてゲストティーチャーとしての協力。子どもがおうちの方へインタビューする際に協力する。子どもたちの学習の場を提供する。

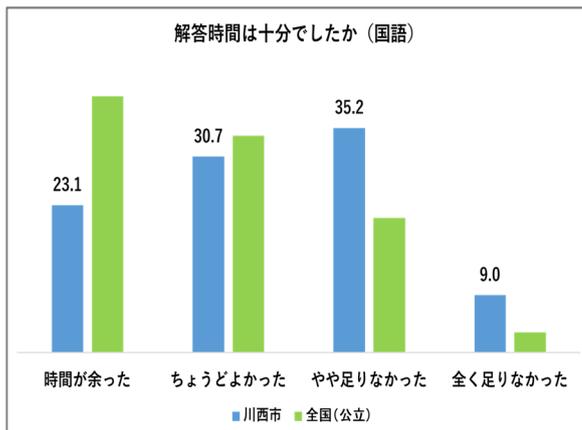
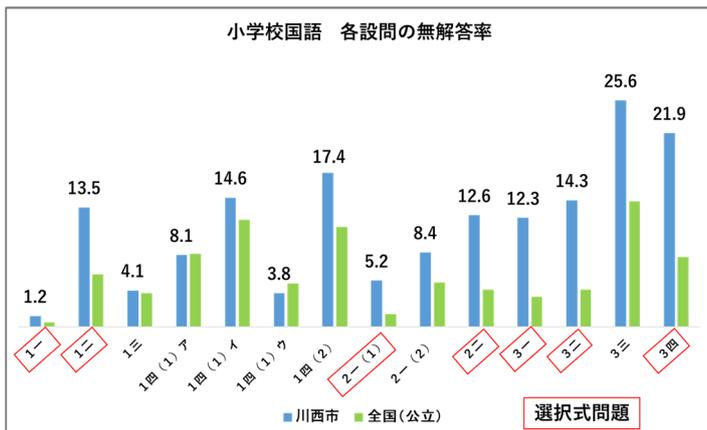
【総合的な学習の時間】 参考：小学校学習指導要領（総合的な学習の時間編）

課題設定



無解答を減らすため、粘り強く問題に取り組む子どもを育てます。

今回の調査では、小学校国語において無解答率が全国に比べて高い傾向にありました。また、選択式の問題においても、無解答が見られ、わからなければ記入しないという姿勢がうかがえました。さらに、設問の後半になるほど無解答が多くなっていることから、あきらめずに粘り強く問題に取り組む姿勢を育てることが大切になります。「解答時間は十分でしたか」という質問に対して、「やや足りなかった」「全く足りなかった」と答えた子どもが約半数いることから、与えられた時間内で問題をどのように解いていくのか、見通しをもって取り組むスキルも必要になります。



(取り組み内容例)

教育委員会...全国学力・学習状況調査において、無解答率の高い問題の分析と質問紙から考えられる要因を分析し、学校での取り組みのヒントを報告書に記載する。

学校...時間を区切って問題を解く機会を設ける。知識だけを問う問題だけでなく、活用についても一体的に問う問題に取り組む。

家庭・地域...本や新聞など文字に触れ、長文に親しむ態度を育てる。自分で時間を調整し、計画立てて生活するよう支援する。

基礎・基本の確実な定着を図り、授業改善に努めます。

確かな学力を身に付けるためには、基礎・基本の定着が必要です。小学校低学年からの積み上げが必要な教科においては、小学校6年間・中学校3年間を見通し、発達段階を踏まえた指導が必要になります。また、家庭において、宿題などを通して反復学習することで確実な定着につながります。

(取り組み内容例)

教育委員会...県教育委員会作成「ひょうごつまずきポイント指導事例集」を活用した授業改善について、各校へ指導主事が指導・助言する。教員の指導力向上に向けた研修を充実する。

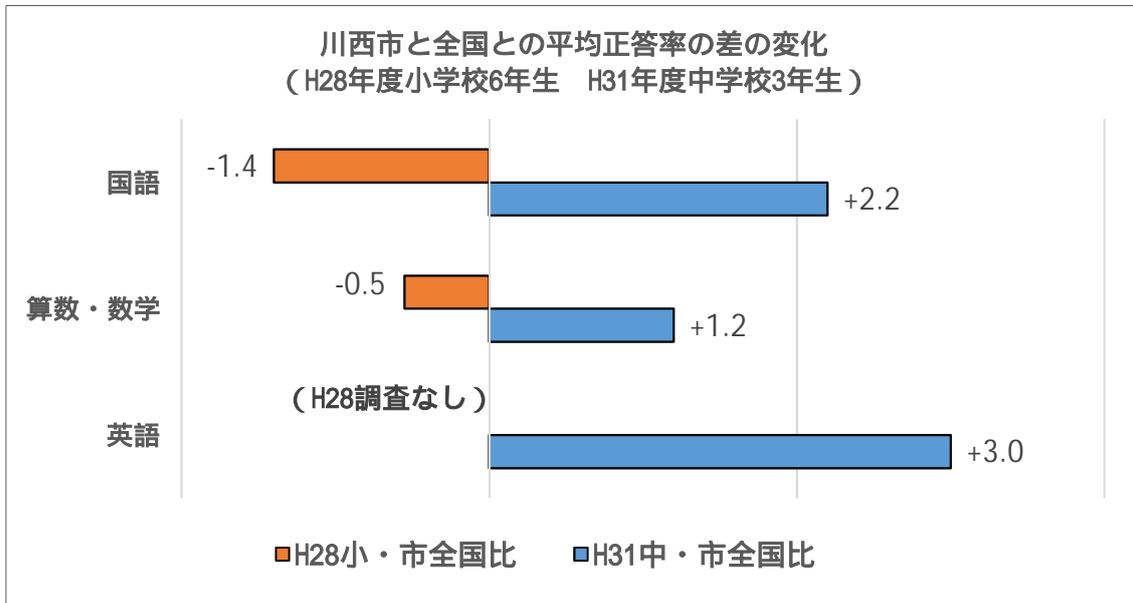
学校...子どものつまずきを把握し、必要に応じて前学年の内容を振り返るなど授業の組立てを工夫する。安心して安全な環境に向けた学習規律の確立を図る。

家庭・地域...家庭学習に取り組める環境を整える。(参考：川西市家庭学習ハンドブック) 子どもから学校での出来事を聞く時間を設ける。

(参考) 平成 28 年度と平成 31 年度 (同一児童生徒) 調査結果の追跡

【教科】

同一児童生徒である平成 28 年度小学校 6 年生と平成 31 年度中学校 3 年生の川西市と全国との平均正答率の差を比較する。

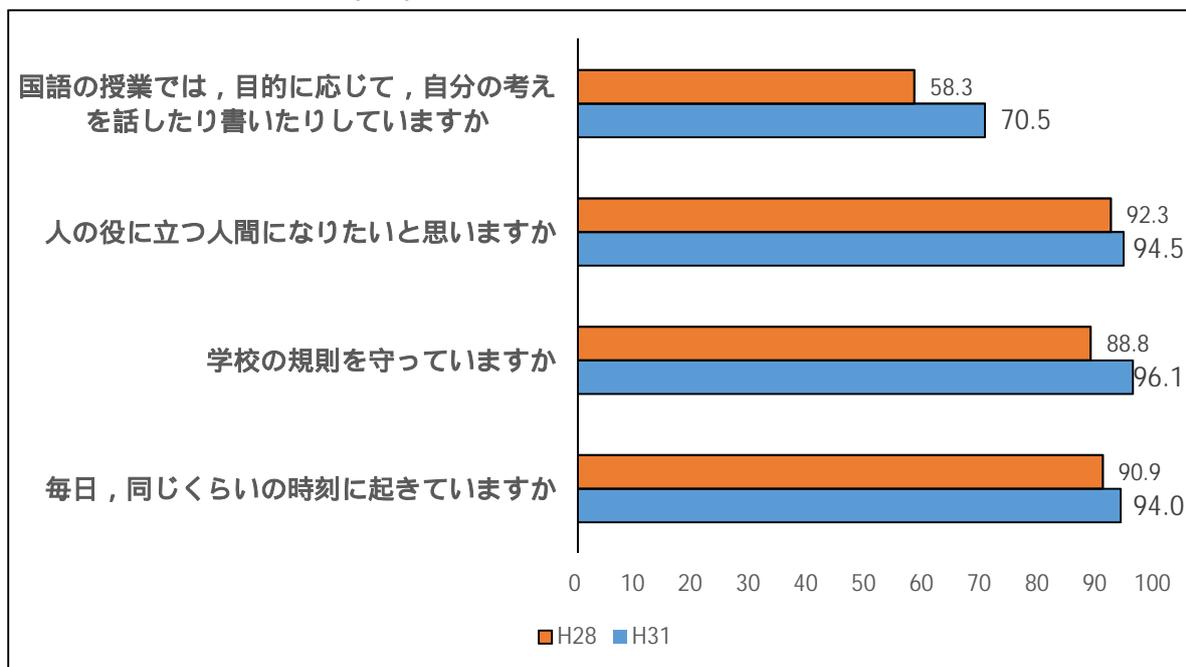


国語 : 平成 28 年度小学校 6 年生、川西市と全国との平均正答率の差が - 1.4 ポイントから、平成 31 年度中学校 3 年生 + 2.2 ポイントと上昇している。

算数/数学 : 平成 28 年度小学校 6 年生、川西市と全国との平均正答率の差が - 0.5 ポイントから、平成 31 年度中学校 3 年生 + 1.2 ポイント上昇している。

以上のことから、一定の向上がみうけられ、小学校での取り組みをうまく引き継ぎ、中学校の成果に結びつける体制ができている。

【質問紙】 数値は肯定群 (%)



規範意識の高まり、基本的な生活習慣の定着について数値が上昇している。